

# **PowerFolder**

Version 1.9.0 補足解説書

2009年9月1日 第1版

(株)エイコット

本文書では PowerFolder V.1.9.0 の機能の内、解説本「PowerFolder 脱 SQL・コンパクトな BI ツール (2007 年 7 月 20 日発行)」に載っていないものを説明します。

## 目次

1 全体.....	1
1.1 機能メニューと機能アイコン.....	1
1.1 外見の設定.....	2
2 データの表示.....	5
2.1 表示書式設定.....	5
2.2 ソート.....	8
2.3 リストの印刷／プレビュー.....	10
3 データの操作.....	13
3.1 カード表示.....	13
3.2 編集・追加ウィンドウの操作.....	19
3.3 データの検査.....	22
4 フォルダの操作.....	23
4.1 フォルダの部分貼り付け.....	23
4.2 データのドロップ.....	24
4.3 データ処理.....	33
5 集計表示.....	41
5.1 グラフ表示.....	41
5.2 カード表示.....	48
6 式と組込み関数.....	52
7 アクセス制御.....	58
8 ライセンスの設定.....	66

# 1 全体

## 1.1 機能メニューと機能アイコン

機能メニューと機能アイコンは次の通りです。

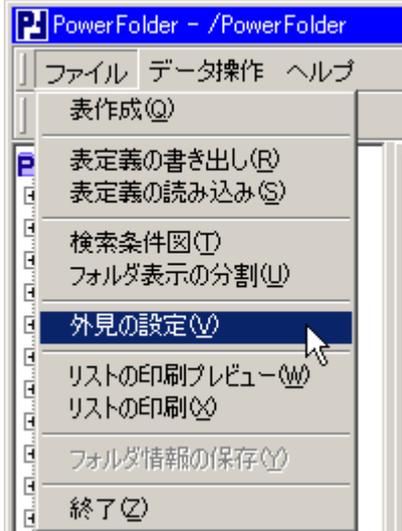
太字は PowerFolder V.1.9.0 で追加されたものです。

メニュー	サブメニュー	説明	アイコン
ファイル	表作成 表定義の書き出し 表定義の読み込み	表形式のデータに関する操作。	
	検索条件図	開いているフォルダに設定しある検索条件図を表示します。	
	フォルダ表示の分割	フォルダ表示を分割して、2つ表示します。	
	外見の設定	各表示領域の色、フォントを設定します。	
	リストの印刷プレビュー	一覧表示しているデータの印刷を画面で確認します。	
	リストの印字	一覧表示しているデータを印字します。	
	フォルダ情報の保存	フォルダ情報を保存します。	
	ライセンスの設定	ライセンス情報を入力し登録します。	
	終了	PowerFolderを終了します。	
データ操作	カード表示	選択した1レコードを別ウィンドウでカード表示します。	
	編集	選択したレコードの編集をおこないます。	
	追加	選択したレコードに追加レコードの内容を入力します。	
	処理の実行	フォルダに記述した処理を実行します。	
	CSV取込	CSV形式のファイルを読み込んで新たなレコードを登録します。(Import)	
	CSV出力	選択したレコードをCSV形式のファイルに書き込みます。(Export)	
	削除	選択したレコードを削除します。	
	続き	一回の最大検索数(50,000)を越えた時、検索を続ける場合に使います。	
ヘルプ	有効期限の表示	有効期限を表示します。	
	バージョン情報	バージョン情報を表示します。	

## 1.1 外見の設定

PowerFolder画面の色とフォントを設定することができます。

①メニュー「ファイル」-「外見の設定」を選択します。



② タブの切替で4つの領域の色とフォントの設定ができます。



### フォルダ表示・タブ

フォルダ表示領域の設定です。

「色」ボタンのクリックで「色の設定」が開きます。

フォルダ表示領域の背景色の設定です。

「フォント」ボタンのクリックで「フォント」が開きます。

フォルダ名を表示するフォントの設定です。

## 1.1 外見の設定



### 結果表示・タブ

検索・集計結果表示領域の設定です。

「見出しの色」、「データの色1」、「データの色2」ボタンのクリックで「色の設定」が開きます。

「見出しの色」は最上部の見出しの背景色です。

「データの色1」、「データの色2」は見出しから下のデータ行の背景色で、色1と色2で交互に塗られます。

「フォント」ボタンのクリックで「フォント」が開きます。

見出しとデータのフォントの設定です。



### 検索条件図・タブ

検索条件図の設定です。

「色」ボタンのクリックで「色の設定」が開きます。

検索条件図の背景色の設定です。

「フォント」ボタンのクリックで「フォント」が開きます。

検索条件を表示するフォントの設定です。

## 1.1 外見の設定



### その他・タブ

機能メニュー、機能アイコン、検索の要約の設定です。

「色」ボタンのクリックで「色の設定」が開きます。

各部の背景色の設定です。

「フォント」ボタンのクリックで「フォント」が開きます。

各部のフォントの設定です。

③ 設定を受け入れるのであれば「OK」をクリック、そうでない場合は「キャンセル」をクリックします。



## 2 データの表示

### 2.1 表示書式設定

PowerFolderの「検索・集計結果表示領域」に検索結果を一覧表示する際の書式を設定できます。表示書式設定では、検索表示する項目(カラム)の並び順やデータ枠内のデータ表示位置などを設定します。

表示書式設定は、表の下位に設定するフォルダ毎に設定することができるために、同じ表であってもフォルダ毎に着目する項目(カラム)の並びを変えて設定することができます。

#### 【検索表示の書式設定】

① 新しくできたフォルダ「釣り実績2007」にカーソルを合わせて右ボタンをクリックします。

② 「表示書式設定」を選択します。



## 2.1 表示書式設定



③ 各カラムについて書式を設定します。

### [カラム一覧]

#### 一覧表示するカラム

「検索・集計結果表示領域」に一覧表示するカラム名の先頭口に「レ」でチェックを入れます。

#### 表示列の並びの変更

一覧表示の列の並びを変更するには、変更するカラム名をクリックして選択した後、そのままマウスの左ボタンを押しながらドラッグして移動先にドロップします。

#### REC\_ID

PowerFolder内部で使用するレコードID

### [検索表示]

カラム名	PowerFolder で扱うカラム名で作成の時、[カラムの追加]タグの[カラム名]で指定した名前。拡張項目では変更できますが、それ以外は変更できません。
見出し名	一覧表示した時の見出し名前
編集	操作[編集]で内容の変更を認めるか否かを指定します。
表示幅	一覧表示した時の項目(カラム)表示幅を指定します。
同上表示	一覧表示した時、項目(カラム)の内容が上のレコードのそれと同じであった場合、一覧表を見やすくするための表示をするか否かを指定します。
／記号	同上表示する場合、その記号を指定します。空白にする場合は、何も指定しません。
位置揃え	一覧表示した時、表示枠内のどこに内容を表示するのかを指定します。
ソート順序	表示する時のソートの順序を指定します。0はソートなしとなり、それ以外は指定した数の小さい順にソートされ、同じ数の場合は左側のカラムが先になります。
向き	一覧表示の状態で見出し名をクリックした時のソートの向きを指定します。同じ場所で再度クリックすると昇順、降順が逆になります。(Ctrl)キーを押しながら別の見出しをクリックすると、ソートのカラムに付け加えられます。
／種別	例えば曜日のように、内容を単純な文字列や数値でなく、特別な意味をもつものとして解釈する場合に指定します。
型	データの型を指定します。
／少数点以下	少数点以下の桁数を指定します。
罫線表示	一覧表示した時、枠の罫線表示をするか否かを指定します。
カンマ表示	データの型が整数または、実数の時3桁毎にカンマを挿入するか否かを指定します。

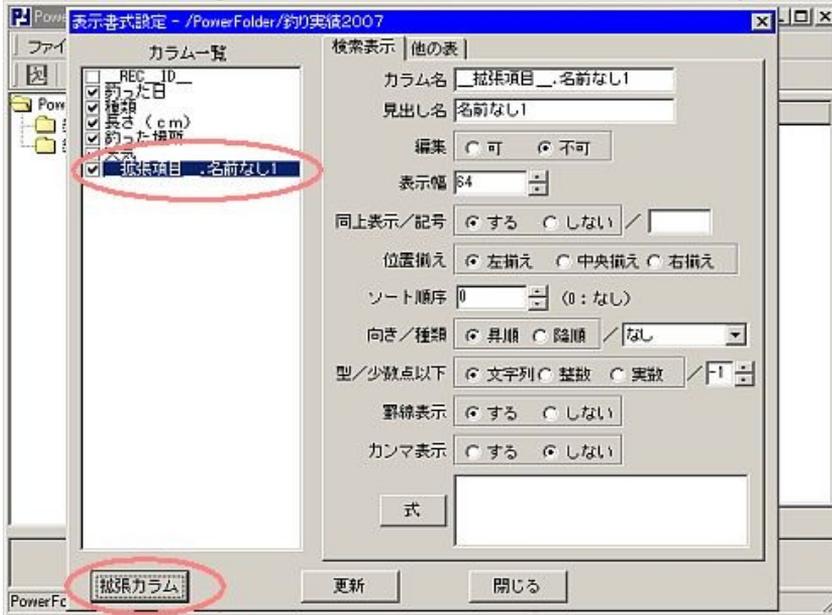
### [他の表]

解説本「Ⅲ-2-⑦ 表の結合」を参照してください。

## 2.1 表示書式設定

### 【拡張カラム】

「拡張カラム」をクリックすると拡張カラムが作成されカラム一覧に表示されます。



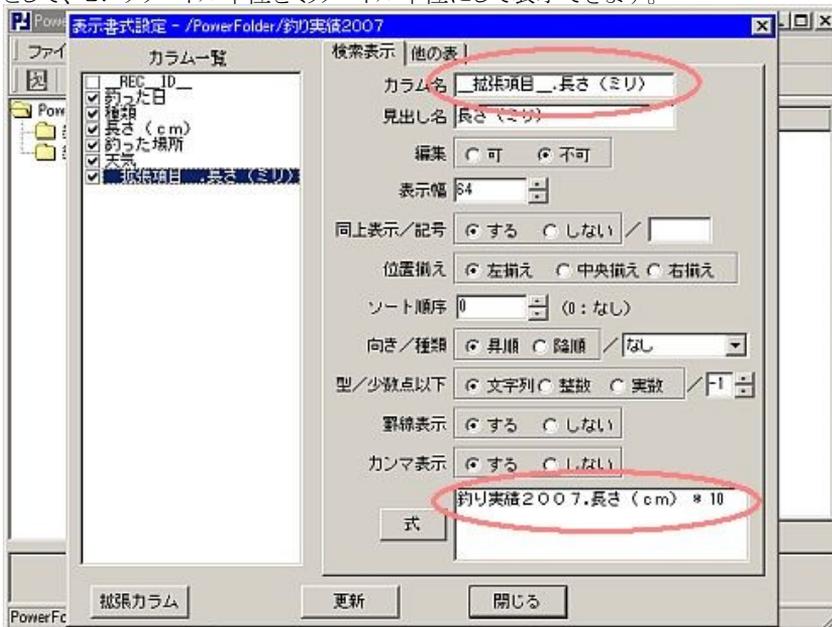
拡張カラムは、メモリ上にだけ存在するもので、データの内容としてメディア(ディスク)に記録されることはありませんし、内容を直接編集することもできません。その代わりに、他のカラム値の参照、四則演算、組込み関数からなる式を定義できます。

例えば、作成した拡張カラムの

カラム名を「\_拡張項目\_長さ(ミリ)」、

式を「釣り実績2007.長さ(cm) \* 10」

として、センチメートル単位をミリメートル単位にして表示できます。



式については「6 式と組込み関数」で説明します。

全ての設定が終了したら「更新」をクリックします。

## 2.2 ソート

PowerFolderの「検索・集計結果表示領域」に表示された結果をソートすることができます。

① ソートする項目の見出しをマウスの左ボタンでクリックするとその項目でソートされ、ソートの状態がウィンドウ下部に表示されます。



② ソートされている項目の見出しをクリックすると昇順、降順が切り替わります



## 2.2 ソート

③ (Ctrl)キーを押しながら他の項目の見出しをクリックすると、それまでのソートを残したままで付け加える形になります。

The screenshot shows the PowerFolder application window. The main area displays a table with the following data:

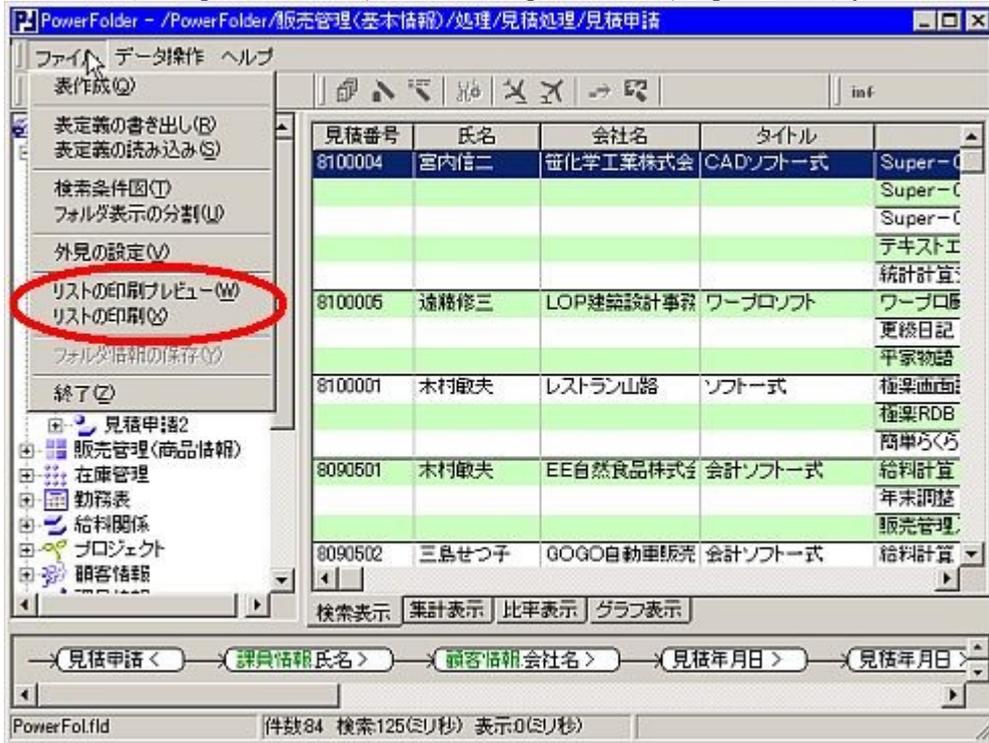
見積番号	氏名	会社名	タイトル
8090403	島村祐子	DD土木設計事務所	ソフト一式
8100049	雨宮晴夫	DD土木設計事務所	ソフト一式
8090403	島村祐子	DD土木設計事務所	ソフト一式
8100049	雨宮晴夫	DD土木設計事務所	ソフト一式
8090403	島村祐子	DD土木設計事務所	ソフト一式
8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト一式
8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式

The status bar at the bottom indicates the current sort order: **ソート: 会社名△ タイトル△**. The '会社名' and 'タイトル' columns in the table header are circled in red in the original image.

## 2.3 リストの印刷／プレビュー

結果表示領域に表示されている検索結果、集計結果を印刷することができます。

メニュー「ファイル」から「リストの印刷プレビュー」か「リストの印刷」を選びます。



「リストの印刷」を選ぶと印刷ダイアログが開きますので、印刷するのであれば「OK」をクリックします。



## 2.3 リストの印刷／プレビュー

「リストの印刷プレビュー」を選ぶと次のウィンドウが開きます。

見番番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サービス	発注年月日	曜日
8100004	宮内啓二	世化学工業株式会社	CADソフト式	Super-CAD	2008/09/10	水
				Super-CAD EX	2008/09/10	水
				Super-CAD V8	2008/09/10	水
				テキストエディタABC	2008/09/10	水
8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト	統計計算シリーズⅢ	2008/09/10	水
				ワープロ風	2008/09/10	水
				意図日記	2008/09/10	水
8100001	木村敏夫	レストラン山崎	ソフト式	平家物語	2008/09/10	水
				種菜園設計	2008/09/09	火
8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト式	種菜RDB	2008/09/09	火
				簡単らくPDF	2008/09/09	火
8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト式	給料計算	2008/09/05	金
				年末調整	2008/09/05	金
				確定申告I	2008/09/05	金
8090401	三島せつ子	LL牛乳株式会社	会計ソフト式	給料計算	2008/09/04	木
				年末調整	2008/09/04	木
8090903	木村敏夫	ザックス株式会社	会計ソフト式	確定申告I	2008/09/04	木
				給料計算	2008/09/09	火
				年末調整	2008/09/09	火
8090302	宮内啓二	西山産業株式会社	会計ソフト式	確定申告I	2008/09/09	火
				給料計算	2008/09/03	水
				年末調整	2008/09/03	水

印刷	印刷ダイアログが開きます。
設定	プリンタの設定ダイアログが開きます。
ページ	ページ数表示の右側のボタンのクリックでページが送られます。
用紙向き	用紙の向きを選択します。
拡大／縮小	内容を拡大、縮小して印刷します。
閉じる	ウィンドウを閉じます。

拡大／縮小の手順は次の通りです。

① 拡大／縮小の倍率を表示しているところを左クリックして倍率のリストを表示します。

見番番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サービス	発注年月日	曜日
8100004	宮内啓二	世化学工業株式会社	CADソフト式	Super-CAD	09/10	水
				Super-CAD EX	09/10	水
				Super-CAD V8	09/10	水
				テキストエディタABC	09/10	水
				統計計算シリーズⅢ	09/10	水
8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト	ワープロ風	2008/09/10	水
				意図日記	2008/09/10	水
				平家物語	2008/09/10	水
8100001	木村敏夫	レストラン山崎	ソフト式	種菜園設計	2008/09/09	火
				種菜RDB	2008/09/09	火

② 倍率を選択します。

見番番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サービス	発注年月日	曜日	納入曜日	発注頻度
8100004	宮内啓二	世化学工業株式会社	CADソフト式	Super-CAD	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
				Super-CAD EX	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
				Super-CAD V8	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
				テキストエディタABC	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト	統計計算シリーズⅢ	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
				ワープロ風	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
				意図日記	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
8100001	木村敏夫	レストラン山崎	ソフト式	平家物語	2008/09/10	水	受注後2週	特選品30日
				種菜園設計	2008/09/09	火	受注後2週	特選品30日
8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト式	種菜RDB	2008/09/09	火	受注後2週	特選品30日
				簡単らくPDF	2008/09/09	火	受注後2週	特選品30日
8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト式	給料計算	2008/09/05	金	受注後2週	特選品30日
				年末調整	2008/09/05	金	受注後2週	特選品30日

## 2.3 リストの印刷／プレビュー

上下、左右のマージンの設定手順は次の通りです。

① 各マージンは点線で表示されています。

変更したいマージンの点線上にカーソルを置き下図のようなカーソルになったところでマウスの左ボタンを押します。



② マウスの左ボタンを押したままカーソルを移動して目的の位置まで移動します。



③ マウスの左ボタンを離して確定します。



## 3 データの操作

### 3.1 カード表示

PowerFoler で扱う表の項目(カラム)数が多くなると検索表示した時に横スクロールをしなければなりません。

スクロールしないで1行のデータを表示する方法として、「カード表示」が用意されています。結果表示領域のタブが「検索表示」の時と「集計表示」の時とで、「カード表示」は独立しており、それぞれの別の内容と配置を持ちます。ここでは「検索表示」の時の「カード表示」について説明します。

#### 【カード表示】

「検索表示」時の「カード表示」では、カード表示の状態ではデータの内容を書き換えたり、新たなデータを追加することもできます。

ユーザは、「カード表示」のデータを見やすいようにレイアウト変更することができます。

- ① 結果表示領域のタブが「検索表示」の状態アイコン  をクリックするか、「データ操作」メニューから「カード表示」を選択します。



#### 【全表示】

レ印で□にチェックすると検索表示された前後のデータを連続してカード表示できます。

#### 【印刷】

印刷プレビューを表示します。

#### 【<=前】

前のデータをカード表示します。

#### 【次=>】

次のデータをカード表示します。

#### 【閉じる】

カード表示ウィンドウを閉じます。

#### 【配置変え】

カード表示の配置変更をおこないます。

### 3.1 カード表示

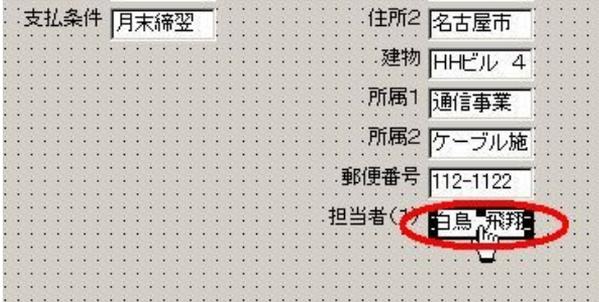
- ② カード表示ウィンドウが表示されますが、この時点では、見やすくレイアウトされていません。
- ③ 「配置変え」をクリックします。



- ④ 配置し易いように点のグリッドが背景に表示され項目(カラム)名と内容表示枠を移動したり内容表示枠の大きさを変えることができます。

#### 移動する項目の指定

カーソルを移動したい項目の見出しか内容のところに置き、マウスの左ボタンをクリックします。  
クリックした項目は選択され太線で囲われます。



#### 項目の移動

選択された項目上にカーソルを置き、マウスの左ボタンを押したままカーソルを目的の場所まで移動します。



マウスの左ボタンを離して移動を終わります。

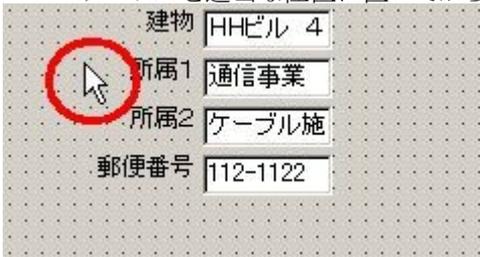


### 3.1 カード表示

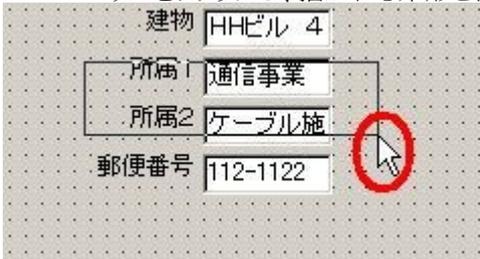
#### 複数の項目の選択

マウスの左ボタンのドラッグで複数の項目を一度に選択することができます。

カーソルを適当な位置に置いてからマウスの左ボタンを押してドラッグを開始します。



マウスをドラッグし、描かれる矩形と目標の項目が交わるようにします。



マウスの左ボタンを離し、目標の項目を選択します。



一つの項目の時と同じ要領で移動できます。

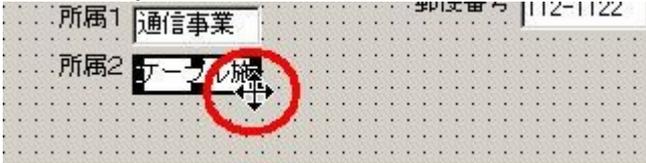


## 3.1 カード表示

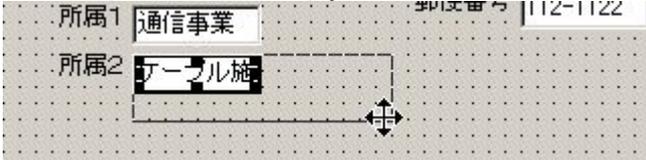
### 内容表示枠の大きさの変更

選択された項目の四隅と辺の中間の■をドラッグすると大きさが変わります。

選択された項目の右下隅の■にカーソルを置き、カーソルが下のような形になったら左ボタンを押します。



マウスをドラッグします。



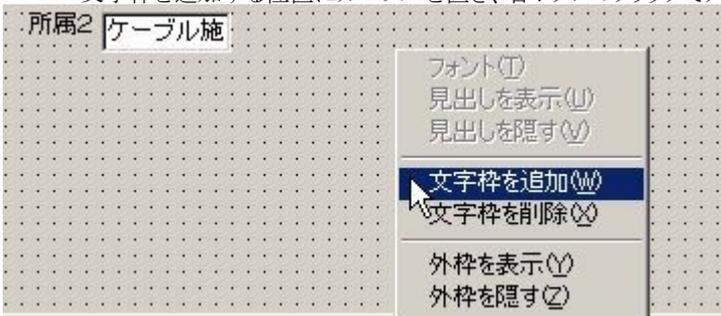
マウスの左ボタンを離し、確定させます。



### 文字枠の追加

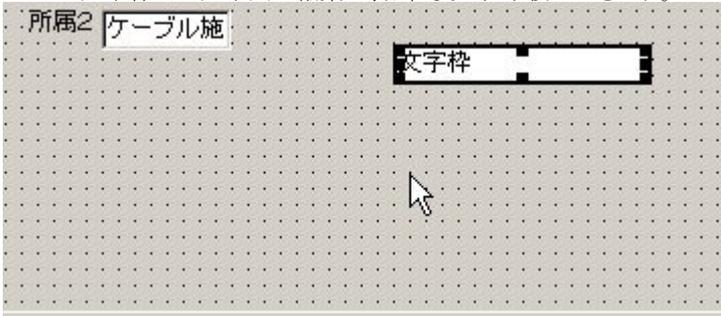
データの項目とは別に、文字枠を追加できます。

文字枠を追加する位置にカーソルを置き、右ボタンのクリックでメニューを表示し「文字枠を追加」を選びます。



追加された文字枠は他の項目と同じ方法で移動や大きさの変更ができます。

文字枠内の文字列の編集は、配置変え終了後にできます。



### その他のメニュー

- |           |                          |
|-----------|--------------------------|
| フォント      | 選択した項目のフォントを設定します。       |
| 見出しを表示／隠す | 見出しを表示したり、隠したりします。       |
| 外枠を表示／隠す  | 文字列部分を囲む枠を表示したり、隠したりします。 |

### 3.1 カード表示

⑤ 「配置変え」をクリックします。

見積番号 8081806	会社名 有限会社広告の佐藤
担当者ID 05467	商品・サービス Super-CAD
顧客ID T0038	数量 1
タイトル CADソフト	料率 80
見積年月日 2008/08/18	
納入期日 受注後2週	納品番号
有効期限 作成後30日	納品年月日
支払条件 月末締翌月	納品予定日 2008/09/08
見積申請 ●	
見積決裁 ●	
受注番号 08081806J	
受注年月日 2008/09/01	
手配決裁 ●	
手配番号 08081806T	
手配年月日 2008/09/01	
出庫指示日 2008/09/02	

#### 【保存】

表示された内容の一部を変更して保存する時は、「保存」をクリックします。

#### 【追加】

表示された内容の一部を変更して新たなデータとして登録する時は、「追加」をクリックします。

⑥ 通常の状態(配置変え中でない)で、キー入力を受け取る項目がある時、マウスの右ボタンのクリックで表示されるメニューから「色とフォントの設定」を選ぶと「文字枠の設定」ウィンドウが開きます。

見積番号 8100004	商品・サービス Super-CAD
氏名 宮内信二	数量 1
会社名 笹化学工業	料率 80
タイトル 一式	

### 3.1 カード表示



#### [色]

「色の設定」ウィンドウが開き、内容表示の背景色が設定できます。

#### [フォント]

「フォント」ウィンドウが開き、見出しと内容表示のフォントが設定できます。

#### [見出し]

見出しの表示／隠すを指定します。

#### [外枠]

外枠の表示／隠すを指定します。

#### [位置揃え]

内容表示の文字列を枠内にどう揃えるかを指定します。

#### [表示モード]

内容をどのように解釈して表示するかを指定します。

文字列：そのまま文字列として表示

バーコード：内容をバーコードで表示

イメージ：内容をイメージファイルの名前と解釈して表示

#### [位置]

上下左右の三角印ボタンの左クリックで項目が移動します。

またカーソルを”位置”のところに置きカーソルが以下のようになった所で左ボタンを押し、ドラッグしても移動できます。



#### [大きさ]

上下左右の三角印ボタンの左クリックで項目の大きさを変更できます。

また[位置]と同様にカーソルを”大きさ”のところに置き、左ボタンを押し、ドラッグしても大きさの変更ができます。

#### [OK]

変更を確定します。

#### [キャンセル]

変更を破棄します。

## 3.2 編集・追加ウィンドウの操作

データの編集・追加のウィンドウには複数セルの一括操作と入力支援機能があり、データ入力を助けます。

- ① 左ボタンのクリックでカーソルのあるセル(枠)が選択されます。

データの追加				
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会社	CADソフト一式
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト一式
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式
6				

- ② 別のセルにカーソルを置き、シフトキーを押しながら左ボタンをクリックすると、直前の選択セルとカーソルがあるセルを対角線とする四角の領域が選択されます。  
マウスの左ボタンのドラッグでも同様の選択ができます。

データの追加					
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サ
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会社	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					

- ③ 別のセルにカーソルを置き、コントロールキーを押しながら左ボタンをクリックすると、今までの選択セルに追加してカーソルがあるセルが選択されます。

データの追加					
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サ
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会社	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					

- ④ 左端の行番号を左クリックすると行全体が選択されます。

データの追加					
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サ
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会社	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務所	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会社	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					

### 3.2 編集・追加ウィンドウの操作

- ⑤ 一番上の見出しを左クリックすると列全体が選択されます。

データの追加					
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サー
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					

- ⑥ 左上端を左クリックすると全体が選択されます。

データの追加					
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サー
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					

- ⑦ 右ボタンのクリックでメニューが表示されます。

データの追加					
0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品・サー
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					
7					

- 元に戻す Ctrl+Z
- やり直し Ctrl+Y
- 切り取り Ctrl+X
- コピー Ctrl+C
- 貼り付け Ctrl+V
- クリア Del

- 元に戻す** 直前の変更を取り消し、元に戻します。
- やり直し** 元に戻すで取り消した変更を復活させます。
- 切り取り** 選択領域を一時保管場所に格納し、選択領域をクリアします。
- コピー** 選択領域を一時保管場所に格納します。選択領域はそのままです。
- 貼り付け** 一時保管場所の内容を現在の選択領域に貼り付けます。
- クリア** 選択領域をクリアします。

### 3.2 編集・追加ウィンドウの操作

- ⑧ セルを左ボタンでダブルクリックすると候補がウィンドウで表示されます。入力する内容が候補にあれば選択することで、入力作業を軽減できます。内容をキーボードで入力した時も候補は表示されます。



0	見積番号	氏名	会社名	タイトル	商品
1	8100004	宮内信二	笹化学工業株式会	CADソフト一式	Super-CAD
2	8100005	遠藤修三	LOP建築設計事務	ワープロソフト	ワープロ風
3	8100001	木村敏夫	レストラン山路	ソフト一式	極楽画面設計
4	8090501	木村敏夫	EE自然食品株式会	会計ソフト一式	給料計算
5	8090502	三島せつ子	GOGO自動車販売	会計ソフト一式	給料計算
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

候補

タイトル

会計ソフト一式

既存システムの新事業システムの新機能

顧客管理システムの公開ネットアンケート

工場内部材管理システム

工程管理システム

在庫管理システムの自動計量システム

自動受付システム

自動照明システムの

OK

候補はデータベースの内容から取り出します。

関連付けした表の内容も候補として表示できますが、編集集中の表から直接的に関連付いた表のみ可能です。

### 3.3 データの検査

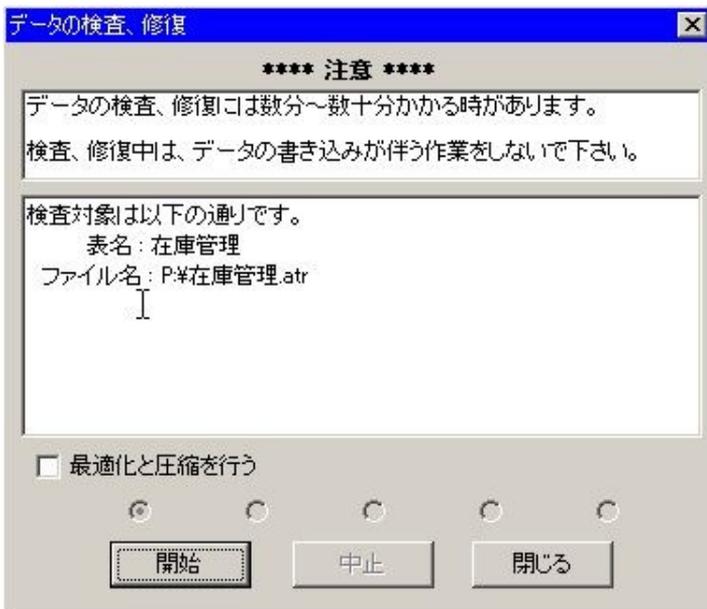
機械の不調、突然の停電、等の予期せぬ事故によってダメージを受けたファイルを検査、修復するために PowerFolder にはデータ検査、修復機能があります。

修復といっても常に100%の回復ができるわけではのでご容赦ください。

- ① 表フォルダにカーソルを置き右ボタンをクリックしメニューを表示し、「データ検査」を選択します。



- ② 「データの検査、修復」ウィンドウが開きます。  
「開始」ボタンでデータの検査が始まり、エラーがあれば修復、最適化、圧縮が行われます。  
下記の[最適化と圧縮を行う]の説明もご参照ください。



#### [最適化と圧縮を行う]

チェックなしの場合、ファイルのエラー検査を行い、エラーなしであれば検査は終了です。  
チェックありの場合、エラーが無くてもファイルの最適化と圧縮を行います。

#### [開始]

ファイルの検索を開始します。

#### [中止]

実行中の処理を中止します。

#### [閉じる]

ウィンドウを閉じます。

## 4 フォルダの操作

### 4.1 フォルダの部分貼り付け

フォルダの部分貼り付けは、一時保管場所にあるフォルダ情報を部分的に選択して指定フォルダに貼り付けます。

通常の貼り付けは、指定フォルダの下位に貼り付けるので指定フォルダ自身の情報を書き替えませんが、部分貼り付けは、指定フォルダの情報を上書くので注意が必要です。

部分貼り付けでは、フォルダの情報を次の様に分けて選ぶことができます。

1. 検索・列挙条件
2. 表示書式
3. 集計書式
4. カード書式
5. 集計カード書式
6. 検索時処理
7. 集計時処理
8. アクセス制御

2～5は表示書式に付随する情報ですので、一時保管場所にあるフォルダに表示書式が設定されている場合のみ、選択できます。

8はアクセス制御が有効な場合のみ表示されます。



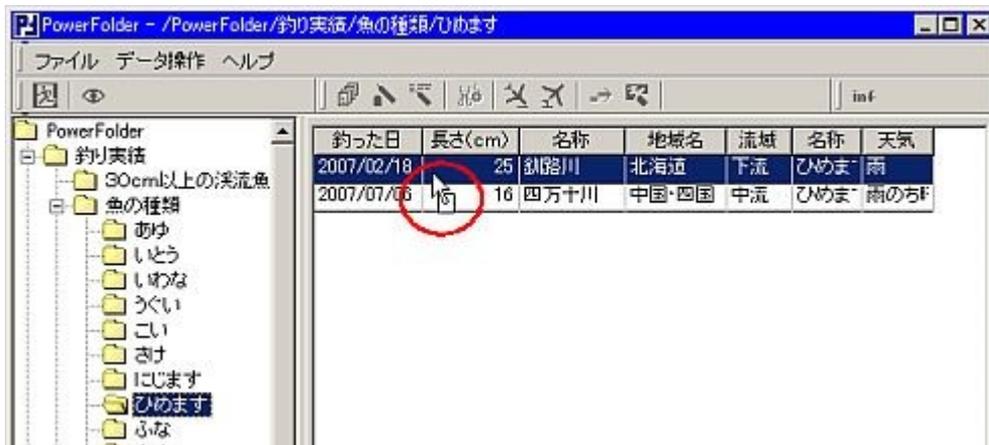
## 4.2 データのドロップ

表示中の検索結果をドラッグしてフォルダにドロップすることで、データの内容を変更できます。

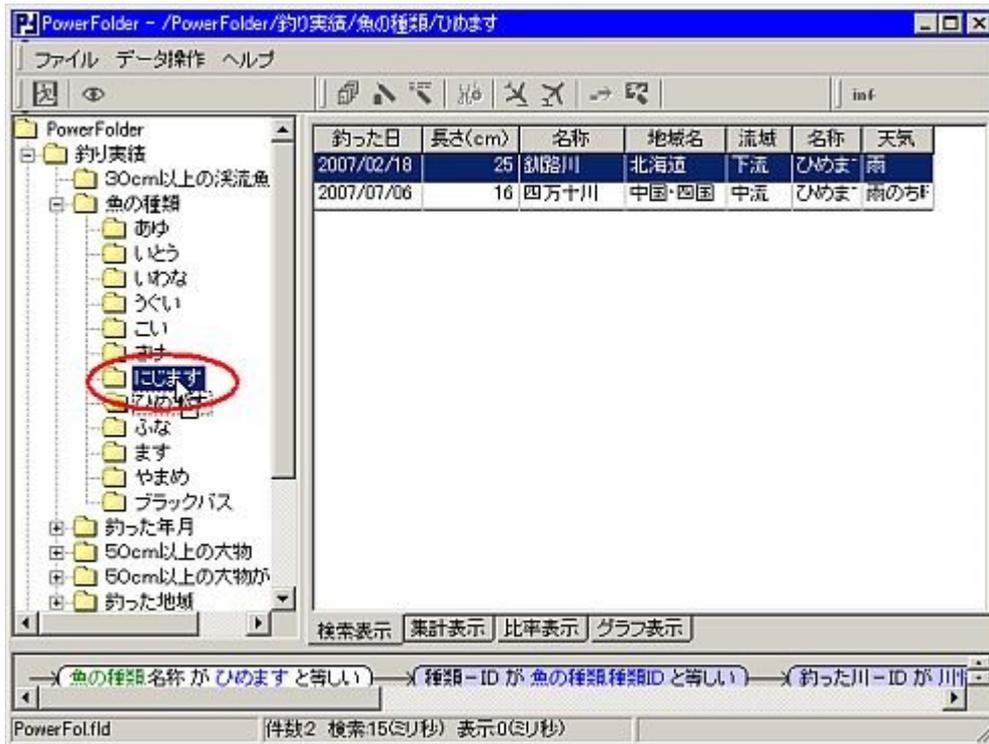
例えば、魚の種類がひめますの検索結果を「にじます」のフォルダにドロップして、種類をにじますに変えることができます。

① 「ひめます」のフォルダをクリックし表示された結果から、にじますに変えるものを選択(複数可)し、その上にカーソルを置き、マウスの左ボタンを押してドラッグを開始します。

左ボタンを押して少しカーソルを動かすとカーソルが下のようになり、ドラッグが始まったことが分かります。

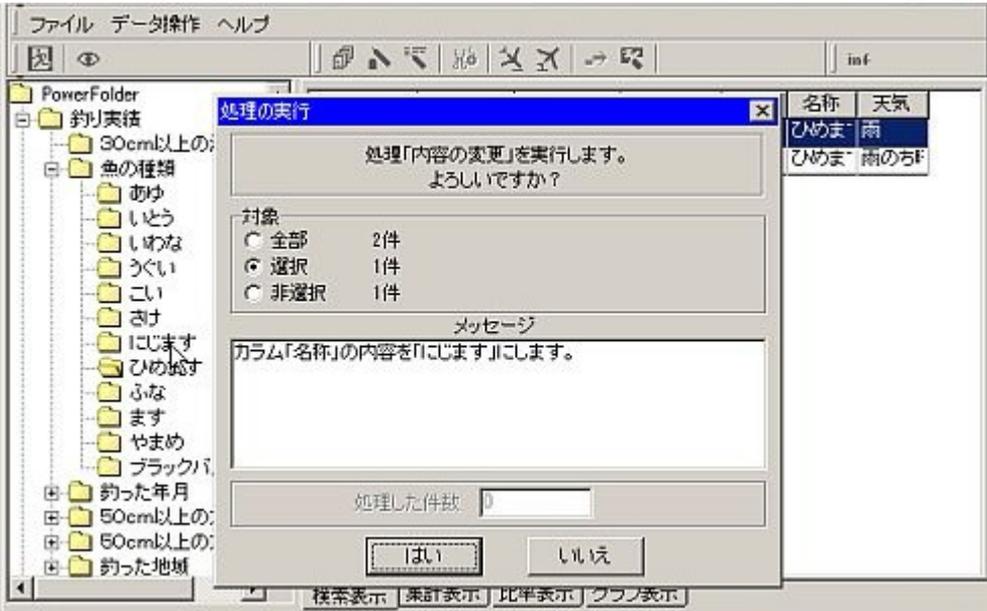


② カーソルを「にじます」のフォルダまで移動します。



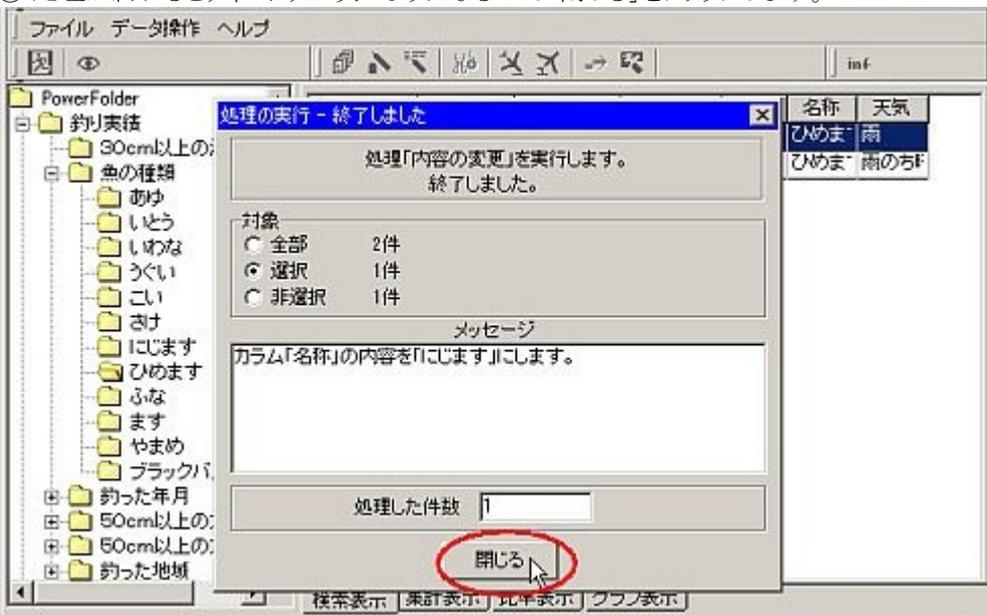
## 4.2 データのドロップ

③ 押していたボタンを離す(ドロップ)と次のようなウィンドウが表示されます。  
中央部のメッセージに“カラム「名称」の内容を「にじます」にします。”と表示され、操作が正しく認識されたことがわかります。



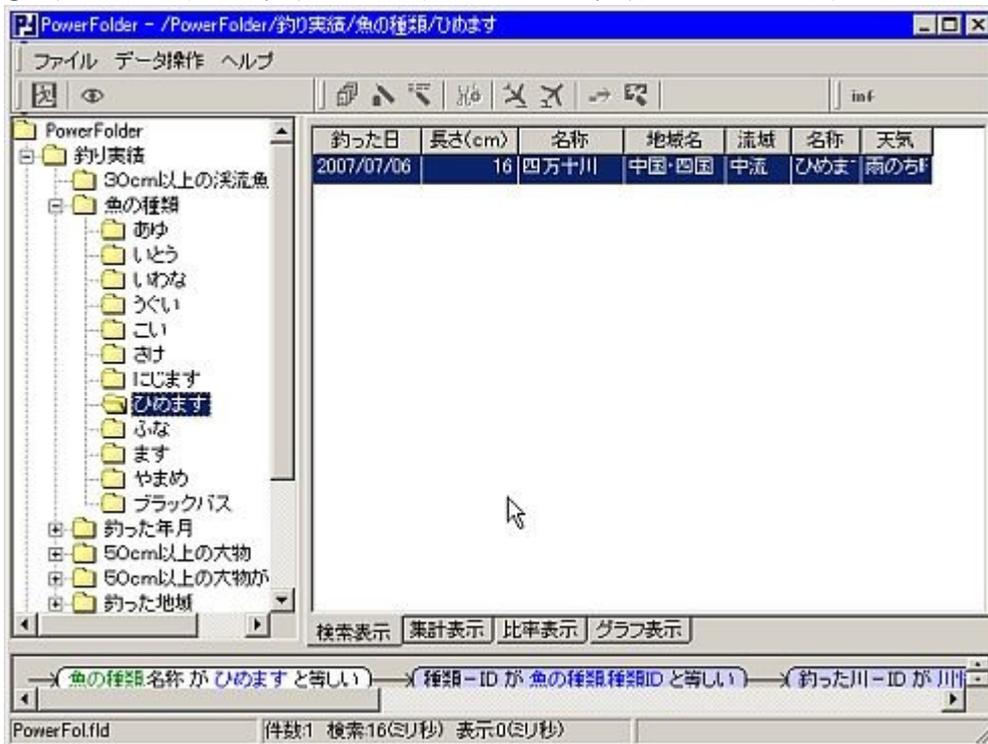
[対象]を選択することにより、処理対象を選択できます。  
「はい」をクリックすると処理が始まります。

④ 処理が終わるとウィンドウが次のようになるので「閉じる」をクリックします。



## 4.2 データのドロップ

⑤ 2件のひめますの内、1件がにじますになったので、1件になったひめますが表示されます。



このように、“<項目名> が <値> と等しい”という検索条件が設定されたフォルダに検索結果がドロップされると、PowerFolderは検索条件に一致するような値をデータにセットします。

これは、ファイルをフォルダに移動し、フォルダを開くとファイルが見える、というのに似てますが、PowerFolderの場合はあくまでも検索条件に一致する値をデータにセットするのであって、データの実体はそのフォルダに移動するものではありません。そもそもデータをフォルダに移動する、という概念自体が考えられません。

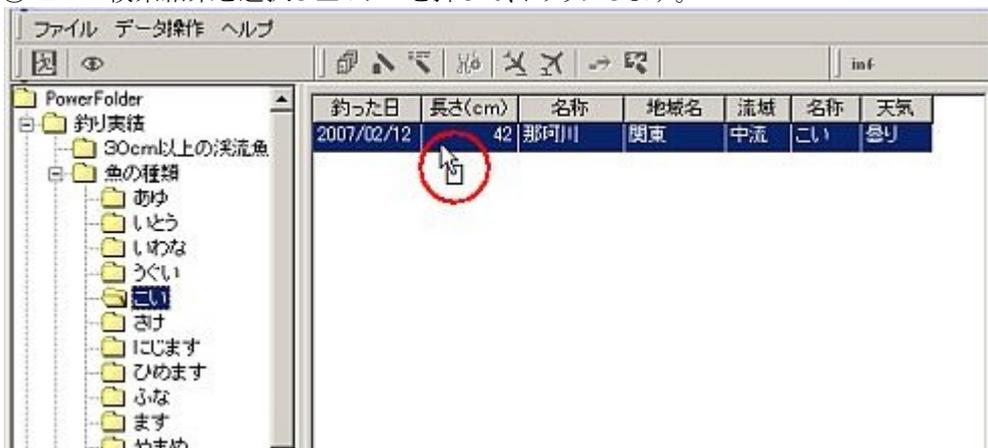
また、そのフォルダを開いた時、上位のフォルダの検索条件によってはそのデータが見えないこともあります。

## 4.2 データのドロップ

検索結果をドロップする時に「Ctrl」キーを押しながらドロップするとデータが複製されて、複製されたデータの内容が変更されます。

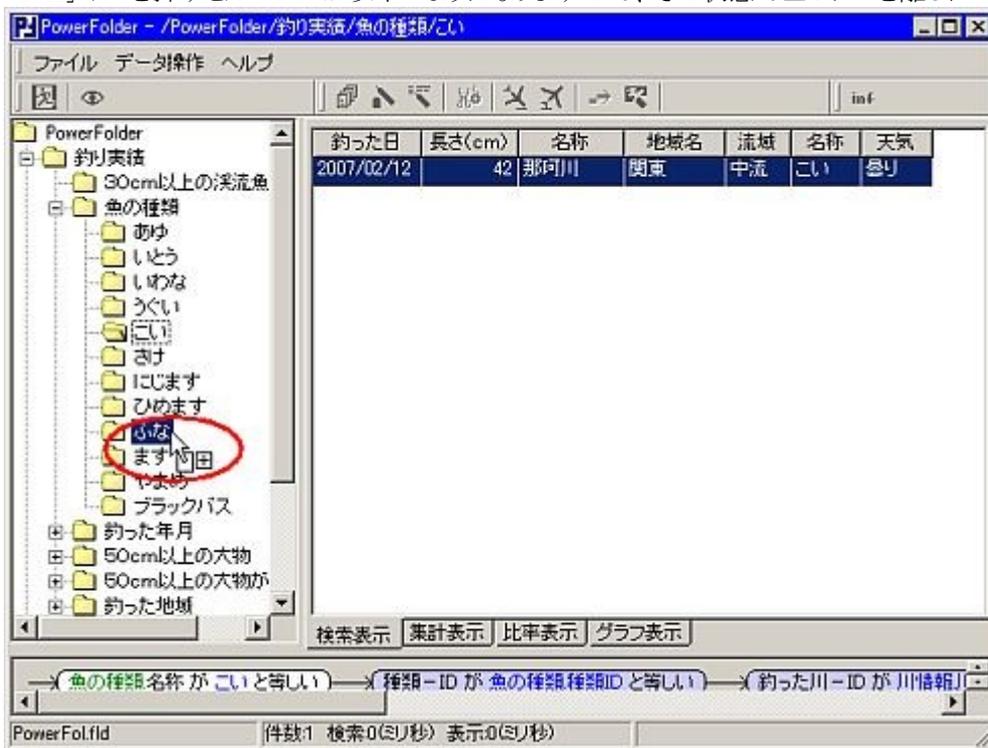
例えば、こいの結果を「Ctrl」キーを押しながら「ふな」のフォルダにドロップすると名称が“ふな”でそれ以外は同じ内容のデータを追加できます。

① こいの検索結果を選択し左ボタンを押して、ドラッグします。



② カーソルを「ふな」のフォルダまで移動したら「Ctrl」キーを押します。

「Ctrl」キーを押すとカーソルが以下ようになりますので、その状態で左ボタンを離しドロップします。



## 4.2 データのドロップ

③ 次の様なウィンドウが表示されます。

中央部のメッセージにレコード(データ)が複写される旨が表示されます。

「はい」をクリックすると処理が始まります。



④ 「ふな」のフォルダを開くと長さが42cmのふなのデータが表示されます。



## 4.2 データのドロップ

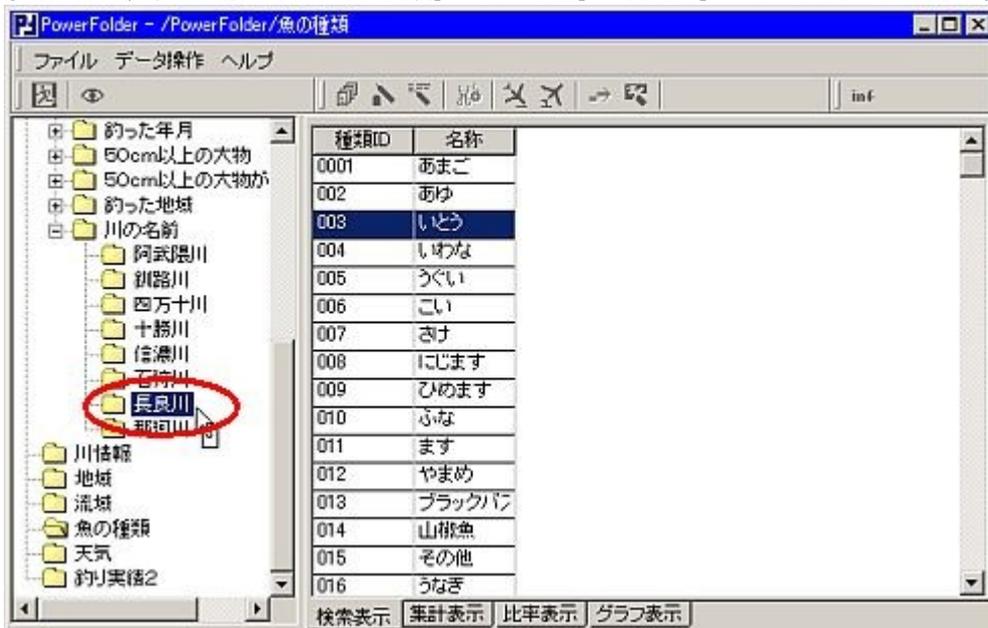
関連付けられた表を検索した結果を関連元の表のフォルダにドロップすると、関連元の表に、ドロップした結果と関連付いたデータが作成されます。

関連付けられた表を「魚の種類」、関連元の表を「釣り実績」として、魚の種類のデータを釣り実績にドロップして釣り実績に新たなデータを作る例を示します。

- ① 「魚の種類」フォルダをクリックし、表示された結果から名称が「いとう」のデータを選択します。

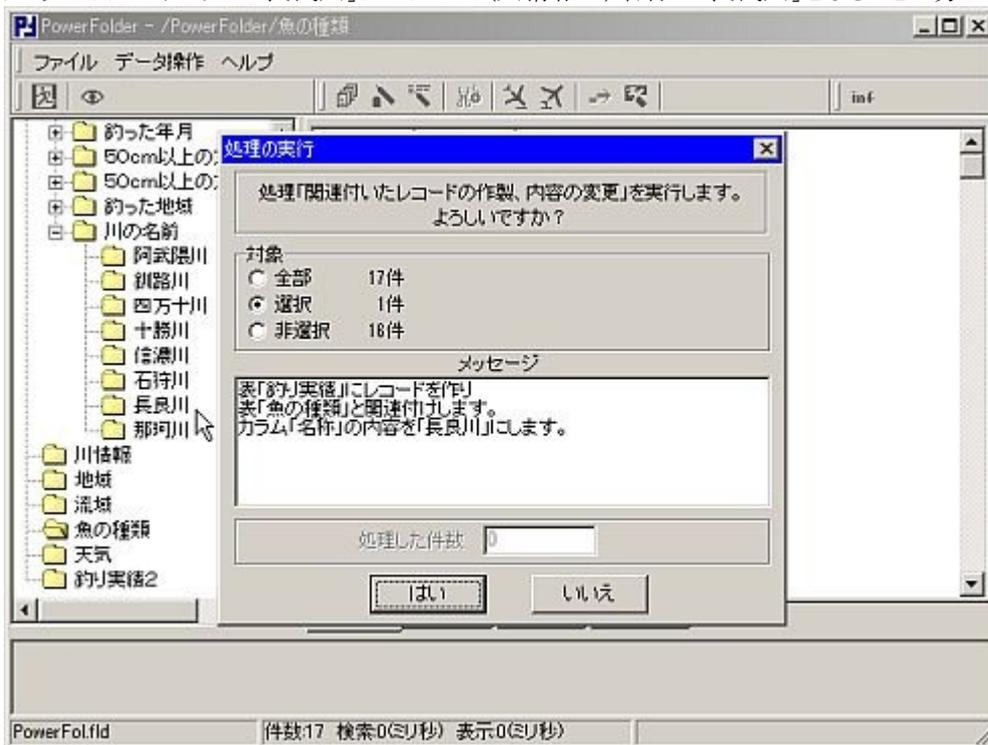


- ② 選択した検索結果をドラッグし「釣り実績」-「川の名前」-「長良川」のフォルダにドロップします。

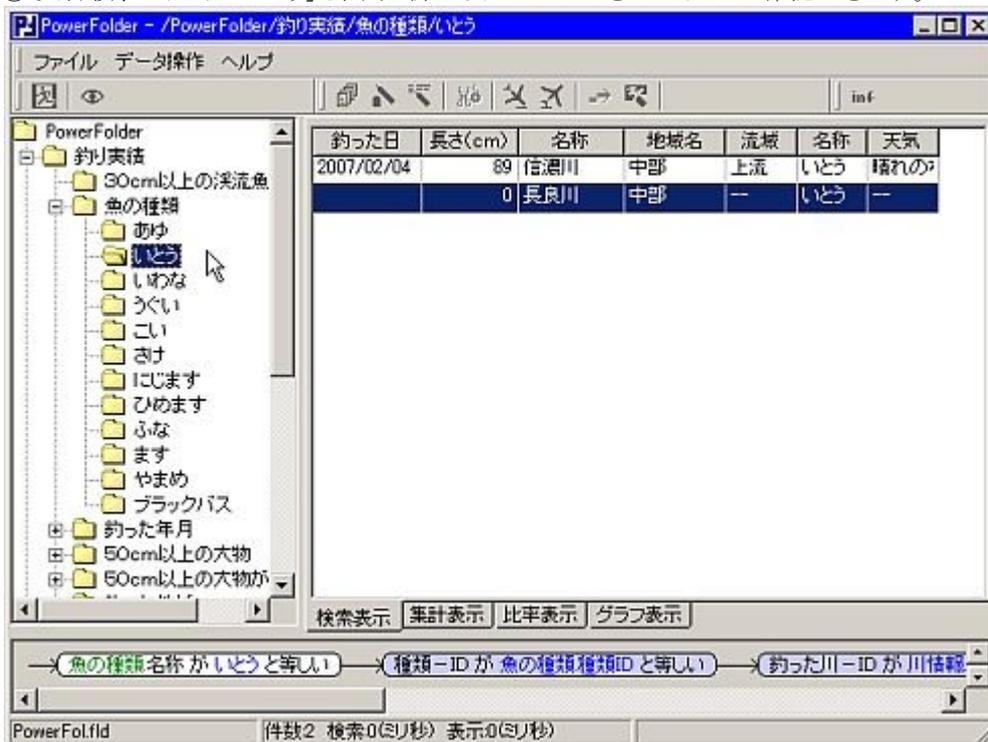


## 4.2 データのドロップ

③ 以下のウィンドウが表示され「釣り実績」にレコードが作られ、ドロップした結果の「いとう」と関連付けられ、ドロップしたフォルダが「長良川」だったので(川情報の)名称が「長良川」となることが分かります。



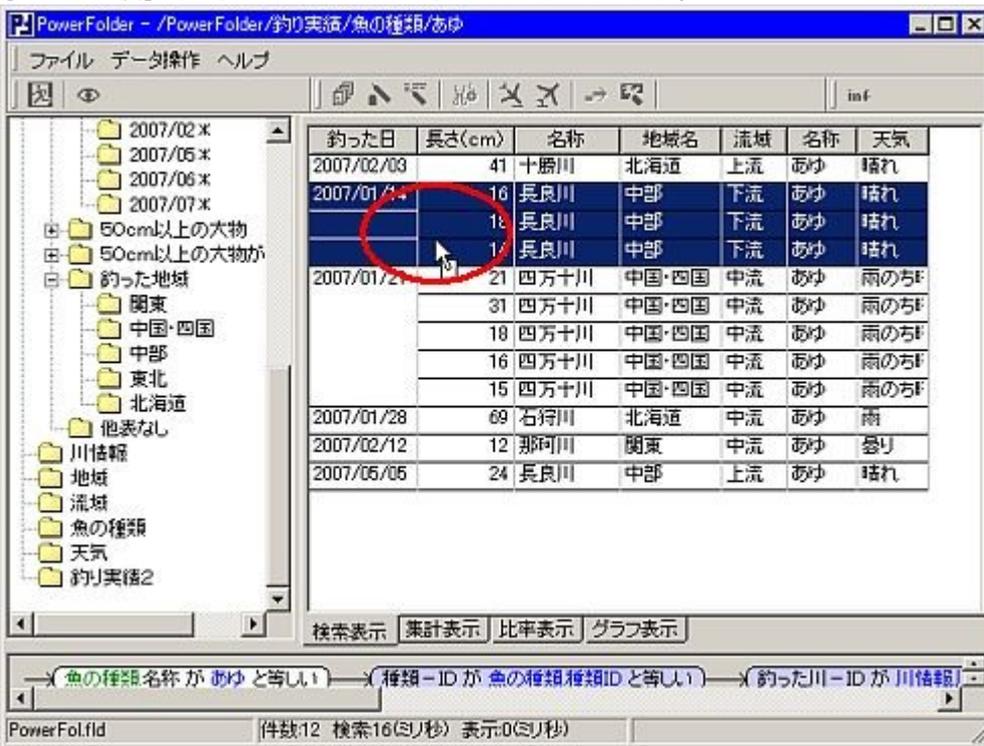
④ 実行後、フォルダ「いとう」を開くと新たなデータができていることが確認できます。



## 4.2 データのドロップ

検索結果を関連付けの無い表のフォルダにドロップすると、データのコピーか移動になります。

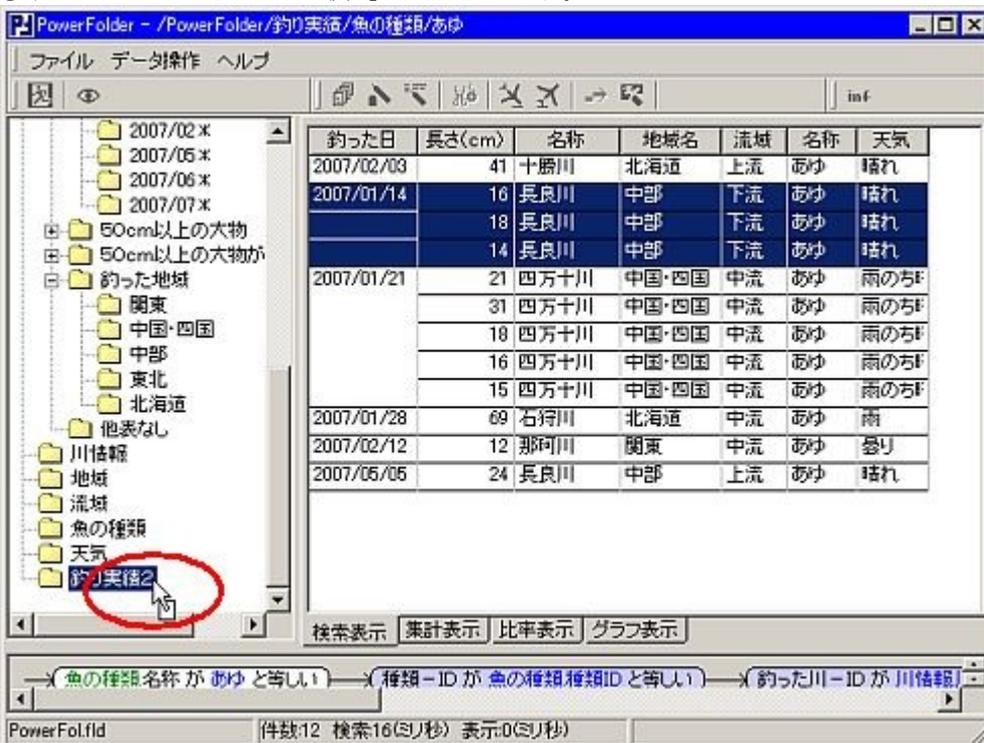
① 「釣り実績」の結果をいくつか選択し、ドラッグを開始します。



The screenshot shows the PowerFolder interface with a search result table. The table has the following columns: 釣った日 (Date Caught), 長さ(cm) (Length in cm), 名称 (Name), 地域名 (Region Name), 流域 (River Course), 名称 (Name), and 天気 (Weather). The first three rows are highlighted in blue and circled in red:

釣った日	長さ(cm)	名称	地域名	流域	名称	天気
2007/02/03	41	十勝川	北海道	上流	あゆ	晴れ
2007/01/14	16	長良川	中部	下流	あゆ	晴れ
	18	長良川	中部	下流	あゆ	晴れ

② 関連付けのない表「釣り実績2」にドロップします。



The screenshot shows the same PowerFolder interface as above, but the folder '釣り実績2' (Fishing Record 2) in the left sidebar is highlighted with a red circle, indicating it is the target for the drop operation.

## 4.2 データのドロップ

③ メニューが表示されるので、コピー、移動、キャンセルから選択します。



④ 例えばコピーを選択すると次の様なウィンドウが表示されます。実行の時は「はい」をクリックします。



コピーや移動の元表と先表との項目の対応は、項目名によって、すなわち元表と先表の項目名を比較し、同じ名前があればその項目同士を対応付けます。先表に対応する名前がない項目の内容は失われます。

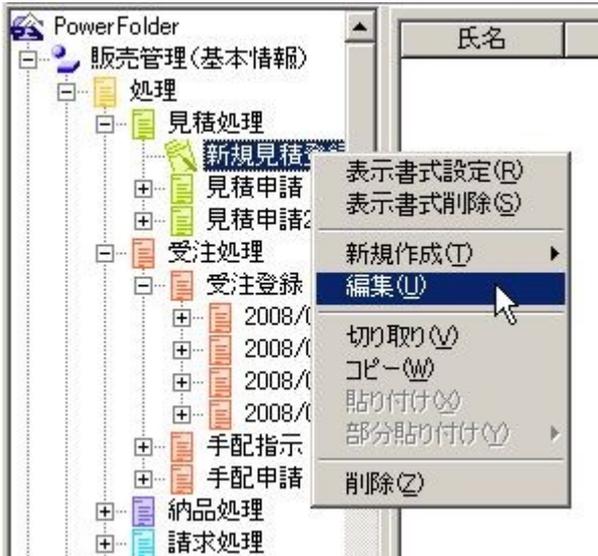
### 4.3 データ処理

検索結果を元にして、何らかのデータ操作ができるように、フォルダにデータ処理を記述できます。データ処理には検索時処理と集計時処理とがあり、それぞれ検索表示の結果に対して、集計表示の結果に対してと対応します。

データ処理の記述方法に関しては「6 式と組込み関数」を参照してください。

データ処理の設定は、フォルダの編集ウィンドウの[検索時処理]タブと[集計時処理]タブで行います。

(1) 処理を記述するフォルダにカーソルを置き、マウスの右ボタンのクリックでメニューを表示し「編集」を選びます。



(2) [検索時処理]のタブをクリックします。



## 4.3 データ処理

(3) 検索表示に対するデータ処理を記述します。

集計表示に対するものは[集計時処理]タブをクリックして行います。

条件フォルダ - /PowerFolder/販売管理(基本情報)/処理/見積処理/新規見積登録

一般 | 検索時処理 | 集計時処理

処理名: 商品情報の表との結合

説明: 新規見積番号で新規項目を追加できるように準備します。

指示: set value(“見積年月日”, date())  
insert(“販売商品”, “見積番号”, 見積番号, “商品 I D”, “A0000”)

実行場面:  メニュー  ドロップ  
 編集前  編集後  削除時

処理対象:  全部  選択  非選択

実行時の確認:  する  しない

更新 閉じる

### 処理名

識別の助けとなるような名前を付けます。

### 説明

処理内容の説明を書きます。

実行時に表示されるウィンドウのメッセージ欄に表示されます。

### 指示

データの処理を「6 式と組込み関数」の式で記述します。

記述した式は結果の1行毎に実行されます。

### 実行場面

データの処理を実行するタイミングを選びます(複数可)。

メニュー:メニューから選んだ時

ドロップ:結果をフォルダにドロップした時

編集前:データを編集し書き込む直前で、カラム値を参照すると編集前のものが返る

編集後:データを編集し書き込んだ直後で、カラム値を参照すると編集したものが返る

削除時:データを削除する時

### 処理対象

処理の対象を全部、選択、非選択の中から選びます。

### 実行時の確認

実行時に確認のウィンドウを表示するか、しないかを選びます。

変更を保存する場合は「更新」、破棄する場合は「閉じる」をクリックします。

## 4.3 データ処理

指示の入力欄にカーソルを置きマウスの右ボタンのクリックでメニューが表示されます。



### 式の編集

式の編集ウィンドウを開きます。

### 組込み関数

組込み関数の編集ウィンドウを開きます。

### 条件の編集

条件の編集ウィンドウを開きます。

### 元に戻す

直前の削除を取り消し、元に戻します。

### コピー

選択中の文字列をクリップボードにコピーします。

### 貼り付け

クリップボードの内容をテキストカーソルの位置に挿入します。

### 削除

選択中の文字列を削除します。

### すべて選択

文字列を全て選択します。

### 4.3 データ処理

式の編集ウィンドウは以下のようにになっています。



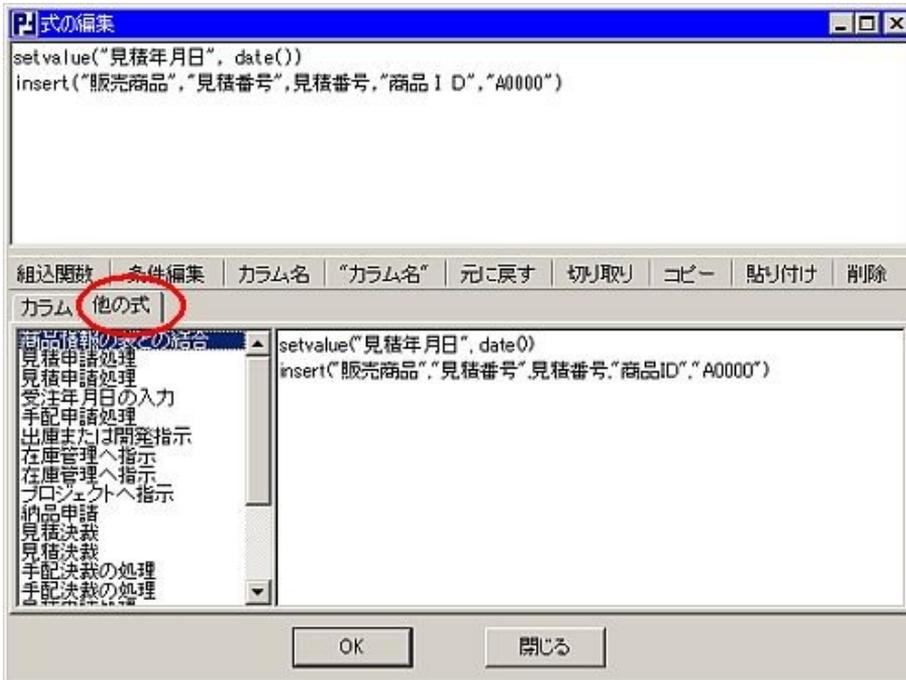
下部には表の項目一覧が表示されます。

一覧の項目ををダブル・クリックするか、クリックで選択した上で中段の「項目名」ボタンをクリックすると上部の式のテキストカーソルがある位置にその項目名が挿入されます。

中段の「項目名」ボタンをクリックするとダブルクォーテーションで囲った項目名が挿入されます。

中段のそれ以外のボタンはメニューと同じ機能です。

下部の[他の式]タブは以下のようにになっています。

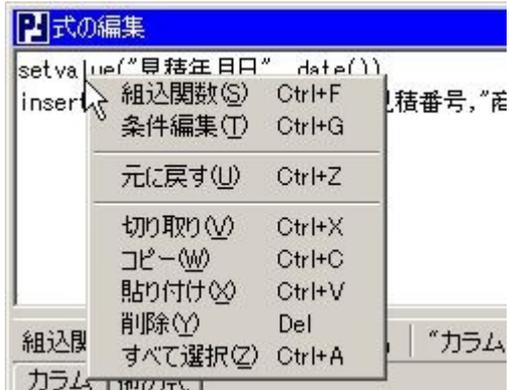


左側は他の処理の名前の一覧で、マウスの左ボタンでクリックすると右側にその処理の内容が表示されます。他の処理の式を参考にする場合に便利です。

### 4.3 データ処理

式の編集ウィンドウの上部の編集領域にカーソルを置きマウスの右ボタンのクリックでメニューが表示されます。

それぞれの機能は指示の入力欄のメニューを参照してください。



### 4.3 データ処理

組込み関数の編集ウィンドウは以下のようにになっています。



#### 関数名

下部の関数の一覧から選ばれた関数が表示されます。

別名がある場合は、右端の▼のクリックで選択できます。

式の編集から関数名にテキストカーソルを置いた状態でメニューから本ウィンドウを開いた場合、その関数が表示されます。

#### 引数(可変)

関数の引数を入力します。

引数の見出しと個数は選択された関数に応じて変わります。

#### 関数

関数の一覧が表示されます。

マウスの左ボタンのクリックで右側に説明が表示されます。

マウスの左ボタンのダブル・クリックで関数が選ばれ、上部の関数名と引数にセットされます。

組込み関数の編集ウィンドウの上部の引数領域にカーソルを置きマウスの右ボタンのクリックでメニューが表示されます。

それぞれの機能は指示の入力欄のメニューを参照してください。



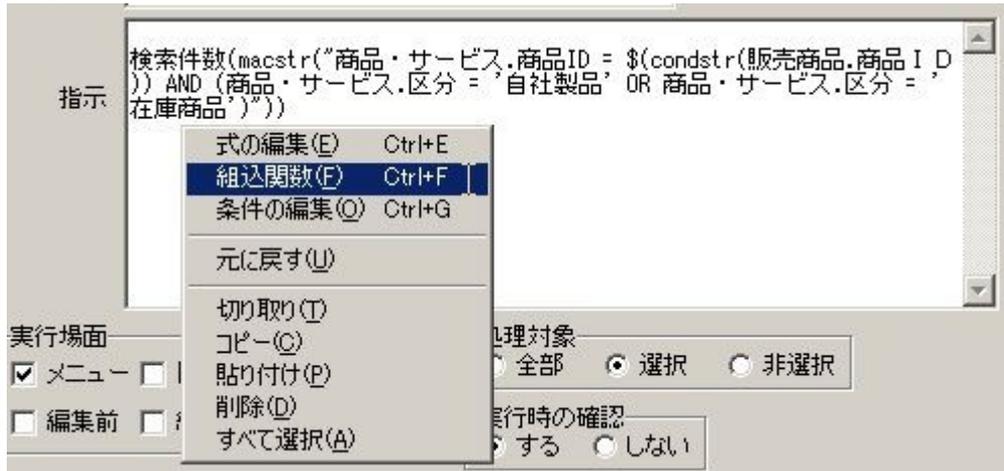
### 4.3 データ処理

組込み関数の検索()や検索件数()では、引数に条件を文字列として渡します。

条件編集ウィンドウはその条件を編集するのに使います。

以下の例では販売商品の商品IDを元に商品・サービス表を検索し、区分が「自社製品」か「在庫商品」かを検索件数で調べています。

(1)指示欄の「検索件数」のところに文字カーソルを置き右ボタンのクリックでメニューを表示し「組込関数」を選びます。



(2)条件欄の「macstr」のところに文字カーソルを置き右ボタンでメニューを表示し「組込関数」を選びます。



### 4.3 データ処理

(3) 引数の1番目が条件の文字列です。

関数 `macstr()` は文字列中で検索したレコードの値を参照したり、関数 `condstr()` を使ったりするために呼び出します。文字列の任意の部分に文字カーソルを置きマウスの右クリックでメニューを表示し「条件の編集」を選びます。



(4) 条件の編集ウィンドウは以下のようになっています。

フォルダの検索条件図と同じように、条件を選んでマウスの右クリックで表示されるメニューから編集や AND 条件、OR 条件の追加、削除ができます。



## 5 集計表示

### 5.1 グラフ表示

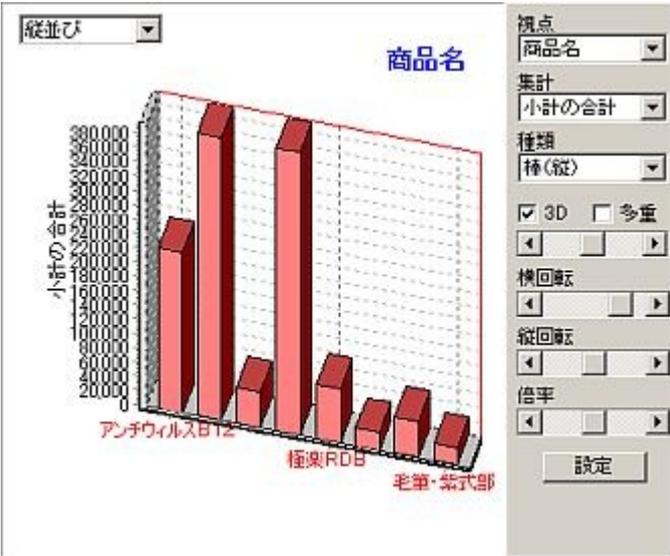
集計結果をグラフで表示することができます。

以下の例では売上を商品別に小計、値引き、売上、の各合計を集計しています。

グラフ表示するには[グラフ表示]タグを左ボタンでクリックします。

商品名	小計の合計	値引きの合計	売上金額の合計
アンチウイルスB12	225,000	22,500	202,500
アンチウイルスC24	395,000	36,000	360,000
ワープロ風	50,000	5,000	45,000
簡単らくらくPDF	395,000	36,000	360,000
極楽RDB	75,000	7,500	67,500
極楽画面設計	25,000	2,500	22,500
極楽表計算	50,000	5,000	45,000
毛筆・紫式部	25,000	2,500	22,500

[グラフ表示]タグには次のようなグラフが表示されます。



#### 視点

集計表示で視点として設定されている項目名から選択します。

#### 集計

上の視点の直下にある集計値から選択します。

#### 種類

グラフの種類を次の中から選択します。

棒(縦)、棒(横)、折れ線、円、面

#### 3D

3次元の立体的なグラフかを選択します。

3Dの場合、下のスライダーバーで奥行さを指定します。

#### 多重

複数の集計値を同時に表示するかを選択します。

#### 横回転

3Dの場合、横回転の大きさを指定します。

#### 縦回転

3Dの場合、縦回転の大きさを指定します。

#### 倍率

3Dの場合、グラフの大きさを指定します。

#### 設定ボタン

グラフの設定ウィンドウを表示します。

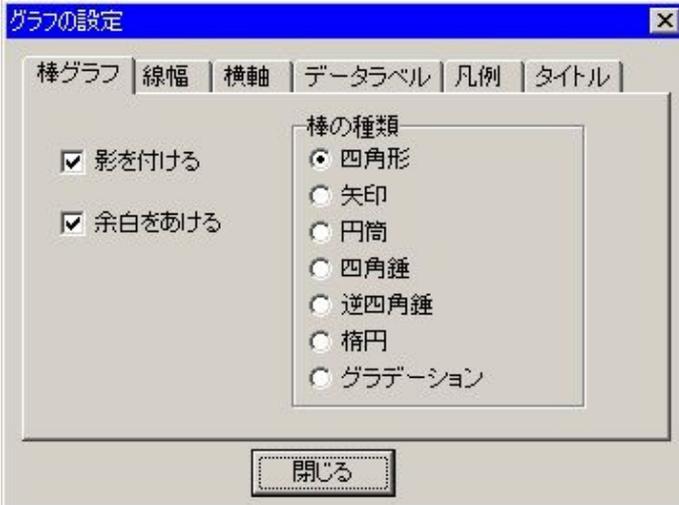
#### 左上のリストボックス

棒グラフで多重の場合、複数の棒の配置を次の中から選択します。

縦並び、横並び、積重ね、積重ね 100%

## 5.1 グラフ表示

グラフの設定ウィンドウは次の様になっています。



### [棒グラフ]タブ

#### 影を付ける

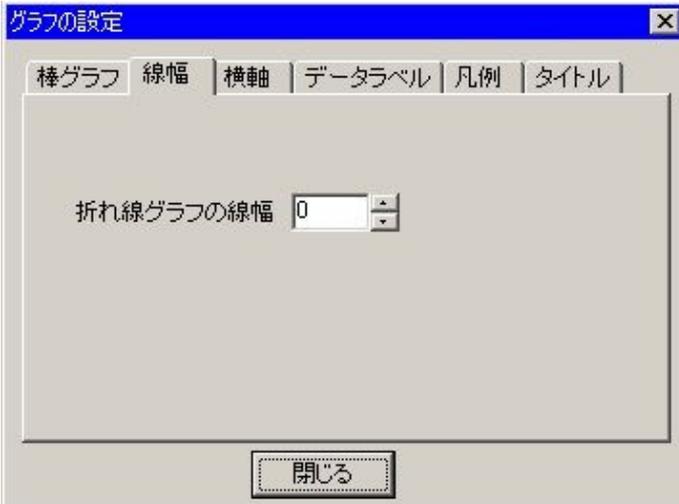
3Dの棒グラフの場合、面に影を付けるかを選択します。

#### 余白をあける

両端に余白をあけるかを選択します。

#### 棒の種類

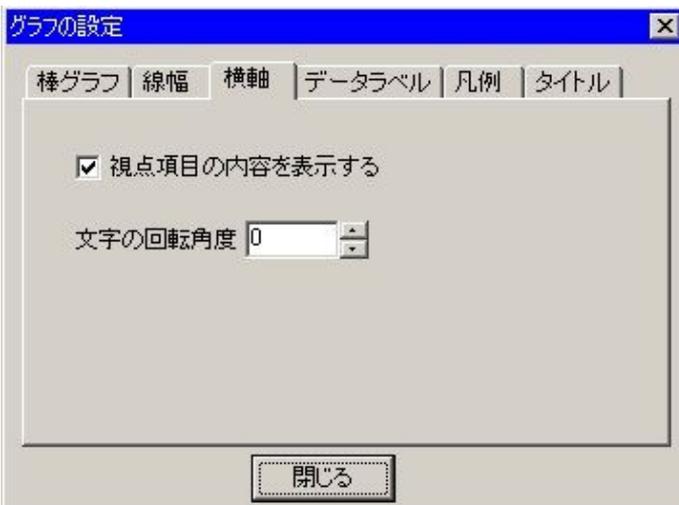
棒グラフの棒の種類を選択します。



### [線幅]タブ

#### 折れ線グラフの線幅

折れ線グラフの線幅を指定します。



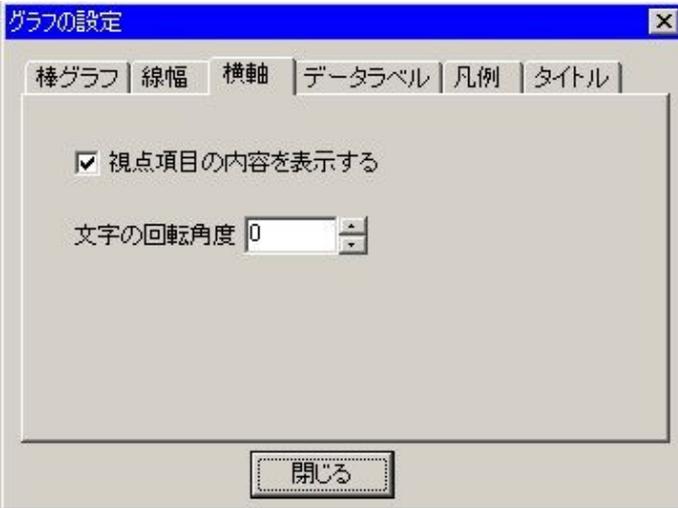
### [横軸]タブ

#### 視点項目の内容を表示する

視点に指定した項目の内容を横軸に表示するかを選択します。

#### 文字の回転角度

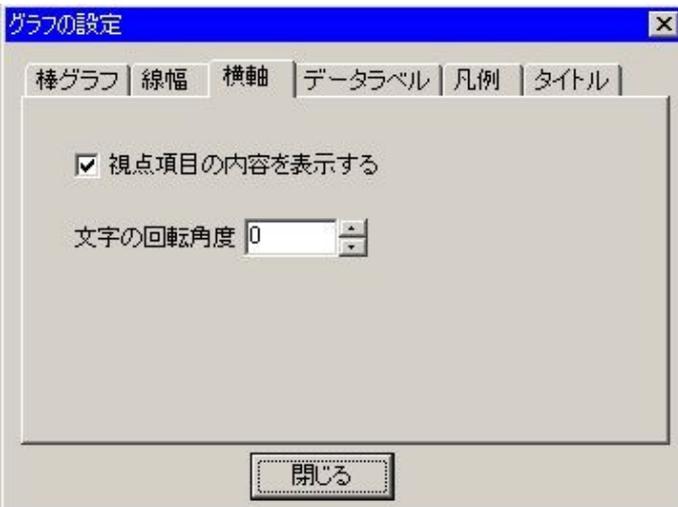
横軸に表示する文字列の回転角度を指定します。

**[横軸]タブ****視点項目の内容を表示する**

視点に指定した項目の内容を横軸に表示するかを選択します。

**文字の回転角度**

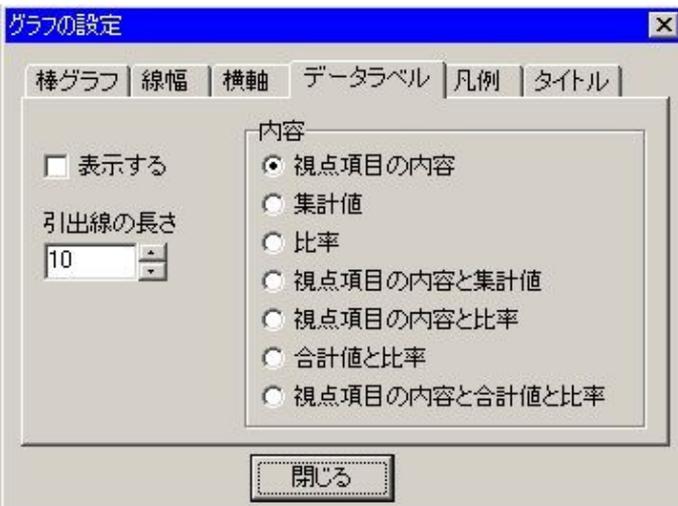
横軸に表示する文字列の回転角度を指定します。

**[横軸]タブ****視点項目の内容を表示する**

視点に指定した項目の内容を横軸に表示するかを選択します。

**文字の回転角度**

横軸に表示する文字列の回転角度を指定します。

**[データラベル]タグ****表示する**

データラベルを表示するかを選択します。

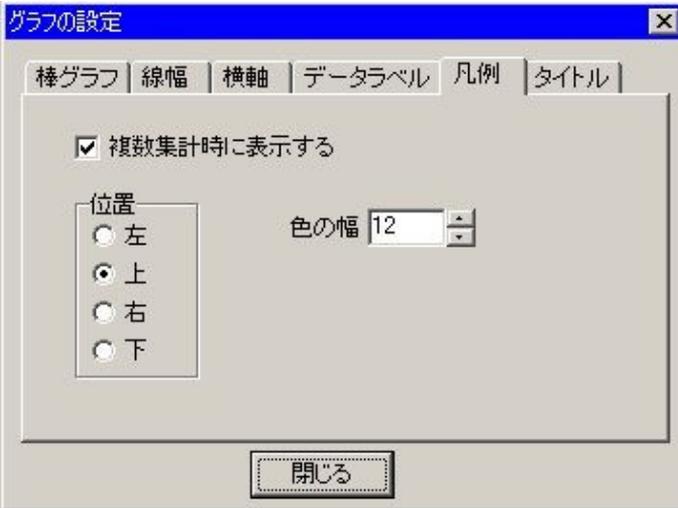
**引出線の長さ**

データラベルとグラフの間の引出線の長さを指定します。

**内容**

データラベルに表示する内容を選択します。

## 5.1 グラフ表示



### [凡例]タグ

#### 複数表示時に表示する

複数の集計値を表示する時に凡例を見せるかを選択します。

#### 位置

凡例の位置を選択します。

#### 色の幅

凡例内で色の例として表示する矩形の幅を指定します。



### [タイトル]タグ

#### タイトル

タイトルを指定します。

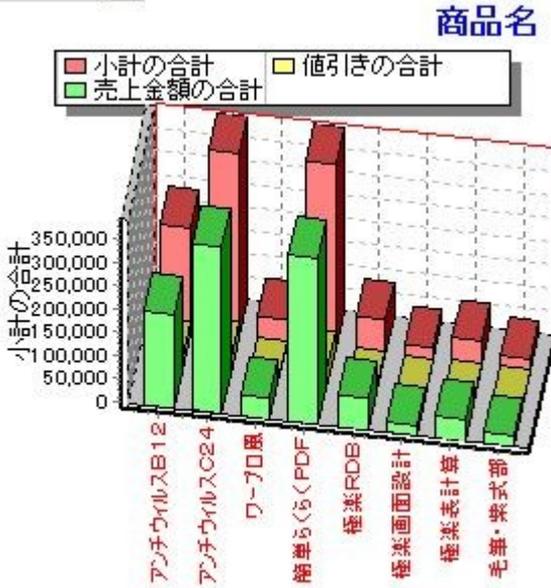
#### Y軸見出し

Y軸の見出しを指定します。

## 5.1 グラフ表示

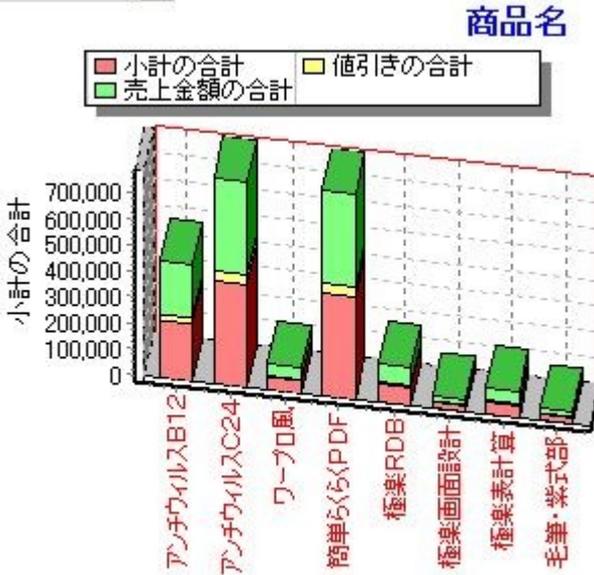
グラフの例をいくつかあげます。

縦並び



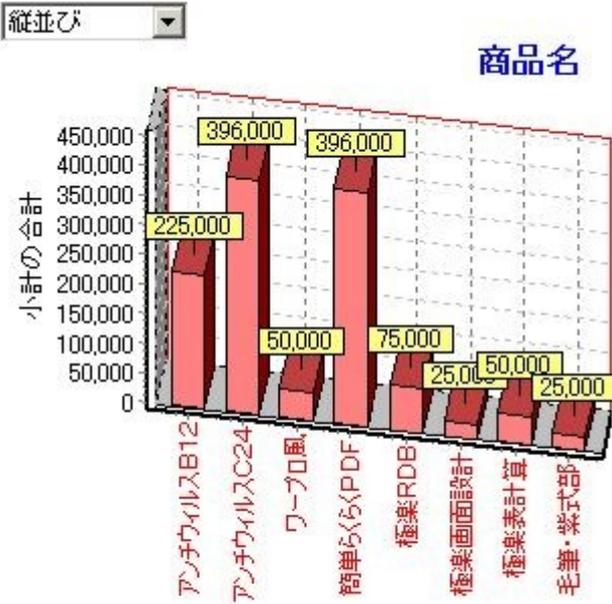
多重  
「設定ボタン」  
→「横軸タブ」  
→「文字の回転角度:90」

積重ね

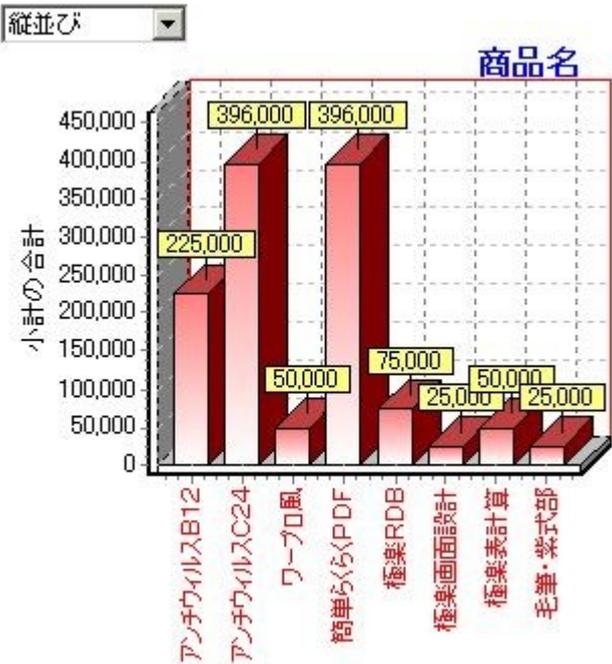


多重  
「設定ボタン」  
→「横軸タブ」  
→「文字の回転角度:90」  
積重ね

## 5.1 グラフ表示



- 「設定ボタン」
- 「横軸タブ」
- 「文字の回転角度:90」
- 「データラベルタブ」
- 「表示する」
- 「内容:集計値」



- 「設定ボタン」
- 「横軸タブ」
- 「文字の回転角度:90」
- 「データラベルタブ」
- 「表示する」
- 「内容:集計値」
- 「棒グラフタブ」
- 「棒の種類:グラデーション」

## 5.1 グラフ表示

グラフ表示の時、「ファイル」メニューから印刷やファイル出力ができます。

ファイル出力のフォーマットは、WMF(Windows メタファイル)、EMF(Enhanced Meta File)、BMP(ビットマップ)が可能です。



## 5.2 カード表示

「3.1 カード表示」で述べたように「集計表示」の時もカード表示は可能であり、かつ、それは「検索表示」の時とは別の独立した設定になります。

「集計表示」と「検索表示」のカード表示の違いは「集計表示」のカード表示では集計の元になった検索結果の明細がカード上にリストとして表示されることです。

例えば、以下のように、販売管理のデータを見積番号で集計して件数をみるとします。



カード表示には、「見積番号」、「件数」に加えて元になった検索結果が明細として表示されます。



## 5.2 カード表示

明細の表示設定を変えるには、カード上で右ボタンのクリックでメニューを表示し、「明細表示カラム設定」を選びます。



**項目一覧** 左端のチェックボックスのレ印で項目の表示／非表示を設定できます。

**[見出しの色]** 「色の設定」ウィンドウが開き、見出し行の色が設定できます。

**[データの色 1]** 「色の設定」ウィンドウが開き、奇数行の色が設定できます。

**[データの色 2]** 「色の設定」ウィンドウが開き、偶数行の色が設定できます。

**[フォント]** 「フォント」ウィンドウが開き、フォントの設定ができます。

**位置** 上下左右の三角印ボタンの左クリックで明細表示が移動します。

またカーソルを”位置”のところに置き、左ボタンを押し、ドラッグしても移動できます。

**大きさ** 上下左右の三角印ボタンの左クリックで明細表示の大きさを変更できます。

また[位置]と同様にカーソルを”大きさ”のところに置き、左ボタンを押し、ドラッグしても大きさの変更ができます。

**[OK]** 変更を確定します。

**[キャンセル]** 変更を破棄します。

## 5.2 カード表示

検索表示のカード表示と同様に、「配置変え」ボタンをクリックし右ボタンクリックでメニューを表示し、「文字枠を追加」を選択することで文字枠を追加できます。

文字枠の内容は、通常は指定した文字列がそのまま表示される訳ですが、集計や検索の項目値を表示したい場合に、項目名を“\$(”と“)”で囲んで“\$(項目名)”と指定することで項目値を表示することができます。以下の例のようにすると、明細表示にある氏名、顧客ID、会社名、を文字枠内に表示できます。

文字枠の内容の編集集中

見積番号 8090304	氏名:\$(氏名)
件数 5	顧客ID:\$(顧客ID)
	会社名:\$(会社名)

見積番号	担当者ID	氏名	顧客ID	会社名	タイプ
8090304	D1234	小泉純	T0034	野口助左右衛門	ソフト一式

文字カーソルを別の枠に移動

見積番号 8090304	氏名:小泉純
件数 5	顧客ID:T0034
	会社名:野口助左右衛門

見積番号	担当者ID	氏名	顧客ID	会社名	タイプ
8090304	D1234	小泉純	T0034	野口助左右衛門	ソフト一式

普遍的に説明すると“\$( )”内は「6 式と組込み関数」で説明する式と解釈されます。式では関数や定数以外は項目名と解釈されるので、このような項目値への置き換わりが起こります。

## 5.2 カード表示

集計のカード表示を利用して見積書、納品書、請求書、といった伝票を作成できます。  
以下は見積書を作成した例です。

### カード表示

見積カード表示

戻る < 前 次 > 配置戻し 印刷

〒112-1122 愛知県 名古屋市森山区川村町372 HIビル 4F 笹化学工業株式会社 通信事業部 顧客管理課 御中 (担当 鹿島 岳人 様)

郵便番号 住所1 住所2 建物 会社名 所属2 所属1

株式会社エイコト 〒151-0066 東京都渋谷区西原3-20-5 ファーストパティオ2F

見積番号 | 納入期日 氏名 担当者(〒) 有効期限 見積年月日 消費税 支払条件 小計の合計 消費税込額

**見 積 書**

下記のとおり見積申し上げます。

見積番号 8090302  
作成年月日 2008年9月3日  
有効期限 作成後30日  
納入期日 受注後2週間  
支払条件 月末締め月末現金  
お問い合わせ 電話: 03-3465-5046  
担当: 宮内信二

**会計金額 ¥21,504-** (内消費税1,024)

会計ソフト一式

商品・サービス	曜日	単価	数量	料率	小計	消費税込額
送料計算	水	12,800	1	80	10,240	10,762
年費調整	水	12,800	1	80	10,240	10,762

### 印刷プレビュー

印刷プレビュー

印刷 設定 ページ 4/23 印刷向き 縦 横 拡大/縮小 100% 閉じる

〒112-1122 愛知県 名古屋市森山区川村町372 HIビル 4F 笹化学工業株式会社 通信事業部 保守課 御中 (担当 鹿島 岳人 様)

株式会社エイコト 〒151-0066 東京都渋谷区西原3-20-5 ファーストパティオ2F

**見 積 書**

下記のとおり見積申し上げます。

見積番号 8090402  
作成年月日 2008年9月3日  
有効期限 作成後30日  
納入期日 受注後2週間  
支払条件 月末締め月末現金  
お問い合わせ 電話: 03-3465-5046  
担当: 宮内信二

**会計金額 ¥364,224-** (内消費税17,344)

ソフト一式

商品・サービス	曜日	単価	数量	料率	小計	消費税込額	備考	消費税
アンチウイルスE12	木	62,000	2	80	99,200	104,160		4,960
ホームページビルダ/薄少納書	木	12,500	2	80	19,200	20,160		960
ワープロ風	木	55,000	2	80	88,000	92,400		4,400
随時対応PDF	木	8,000	2	80	12,800	13,440		640
写真誌	木	55,000	2	80	88,000	92,400		4,400
不正検入110	木	12,800	2	80	20,480	21,504		1,024
毛筆・書式部	木	12,000	2	80	19,200	20,160		960

## 6 式と組み関数

PowerFolder で実際の仕事を処理しようとする、データの検索や集計だけでなく、値の前後に単位等の表記をつけたい、単価 × 個数 のような演算をしたい、日付を表示したい、等が必要になることがあります。

このような要求に答えるために、次のものがあります。

1. 拡張項目 — 「2. 1 表示書式設定」
2. フォルダのデータ処理 — 「4. 3 データ処理」
3. カードの文字枠内容の \$( ) — 「5. 2 カード表示」

これらの記述は共通の規則があり、それに従って書かれたものを式と呼びます。

PowerFolder の式の規則は次の様なものです。

- 式の要素は、数値、文字列定数、項目名、組み込み関数です。
- 数値は10進の数字列です。
- 文字列定数は 'か"' で囲みます。  
始まりの記号と終わりの記号は同じにする必要があります。  
文字列は演算子 + で連結することができます。
- 文字列定数以外の文字列で後ろに ( ) の続くものは組み込み関数です。
- 文字列定数、組み込み関数以外の文字列は項目名です。
- 項目名は検索したデータの値に変わります。
- 四則演算ができます。  
演算子は半角の +, \*, / です。
- 比較演算ができます。  
演算子は半角の <, <=, =, >=, >, <>, != です。( <>, != は等しくない)
- 論理演算ができます。  
演算子は and, or (大文字, 小文字の区別なし)です。

例)

(5 + 3) \* 3  
 単価 \* 個数 + '円'  
 "伊藤" + '博文'  
 氏名 + "様"

## 6 式と組み関数

組み関数には次のものが用意されています。

関数名 <別名>	説明
日付 <date>	<p>日付([d, m, y]) 今日の日付から d 日後、m 月後、y 年後の日付を YYYY/MM/DD で返します。 d, m, y を省略した時は 0 と見なします。</p> <p>例</p> <p>日付(7)            7日後 日付(-7)        7日前 日付(10, 10)    十月十日後 日付(0, 0, 4)   4年後</p>
日付 <date>	<p>日付(s, [d, m, y]) s で指定した日付から d 日後、m 月後、y 年後の日付を YYYY/MM/DD で返します。 s が日付と解釈できない時は日付([d,m,y])の書式で解釈します。 日付と解釈されるのは次の形式です。</p> <p>YYYYMMDD YYYY/MM/DD YYYY-MM-DD YYYY.MM.DD YYYY 年 MM 月 DD 日 DD/mmm/YYYY (mmm は Jan, Feb, Mar, .. ) 上記 YYYY は YY でも可能で YY&lt;50 の時 +2000、50&lt;=YY&lt;100 の時 +1900</p>
年月日	<p>年月日([d, m, y]) or 年月日(s, [d, m, y]) 日付()と同じですが YYYY 年 MM 月 DD 日 で返します。</p>
年号月日	<p>年号月日([d, m, y]) or 年号月日(s, [d, m, y]) 年月日()と同じですが年を年号で表示します。 年号は、「平成」から「宝暦」までをサポートしています。 s に渡せる日付の形式は日付()と同じです(年号はサポートしていません)。</p>
曜日 <dayweek>	<p>曜日([s]) s で指定した日付の曜日を文字列で返します。 s を省略した時は今日の日付になります。 曜日()の文字列は以下の通りです。 '日' '月' '火' '水' '木' '金' '土' dayweek()の文字列は以下の通りです。 'Sun' 'Mon' 'Tue' 'Wed' 'Thu' 'Fri' 'Sat'</p>
日数 <days>	<p>日数([s]) s で指定した日付の基準年からの日数を返します。 s を省略した時は今日になります。</p>
日数日付 <daysdate>	<p>日数日付([n]) 基準年からの日数 n の日付を YYYY/MM/DD で返します。 n を省略した時は今日になります。</p>

## 6 式と組み関数

月齢 <moonage>	月齢(誕生日 [, 基準日]) 月齢を返します。 基準日が省略されると関数を実行した日になります。
年齢 <age>	年齢(誕生日 [, 基準日]) 年齢を返します。 月齢を 12 で割った整数部分です。
時刻 <time>	時刻() 現在時刻を HH:MM:SS で返します。
検索 <search>	検索(条件, 取得カラム, デフォルト値) 条件のレコードを検索し取得カラムを返します。 レコードが無い場合はデフォルト値を返します。 例 検索('商品マスタ.ID =' + 条件文字列(商品 ID), '商品マスタ.商品名', '-----')
検索合計 <searchsum>	検索合計(条件, 合計カラム) 条件のレコードを検索し合計カラムの合計を返します。
検索性数 <searchcnt>	検索性数(条件) 条件のレコードを検索し件数を返します。 例 検索性数('商品マスタ.ID =' + 条件文字列(商品 ID))
検索A <searcha>	検索A(比較カラム, 演算子, 比較値, 取得カラム, デフォルト値) 検索()と同じですが、条件を分けて与えます。
検索最小 <searchmin>	検索最小(比較カラム, 演算子, 比較値, 取得カラム, デフォルト値) 検索A()と同じですが、条件に合うレコードが複数ある場合、最も小さいものを採用します。
検索最大 <searchmax>	検索最大(比較カラム, 演算子, 比較値, 取得カラム, デフォルト値) 検索最小()と同じですが、最も大きいものを採用します。
条件文字列 <condstr>	条件文字列(s1 [, s2, ...]) 文字列を連結後、検索条件の条件文字列にエスケープします。 例 商品名が「80s ヒットソング」の時 検索性数('商品マスタ.商品名 =' + 商品名) はNGなので、以下のようにする。 検索性数('商品マスタ.商品名 =' + condstr(商品名))
likestr	likestr(s1 [, s2, ...]) 文字列を連結後、検索時の演算子 LIKE の条件文字列にエスケープします。 例 「50%」を含む商品名を検索する時 検索('商品名 LIKE ' + condstr('%50%'), ...) は、「50」を含むと解釈されNGなので、以下のようにする。 検索('商品名 LIKE ' + condstr('%', likestr('50%'), '%'), ...)
マクロ文字列 <macstr>	マクロ文字列(s1 [, s2, ...]) 文字列をマクロ文字列として処理し、結果を返します。 マクロ文字列は文字列中の \$(xxxx) で xxxx の部分を式として処理します。

## 6 式と組み関数

	<p>例</p> <p>"\$(氏名) 様の入院先は、\$(病院名)です"</p> <p>関数も使えます</p> <p>"今日は \$(date()) です"</p>
部分文字列 <substring>	<p>部分文字列(str, index, [count])</p> <p>str の index から始まる count 文字数分の文字列を返します。</p> <p>先頭文字の index は 1 です。</p> <p>count を省略した場合は、str の最後までを返します。</p>
文字列分割 <strsep>	<p>文字列分割(str, sep, index)</p> <p>str を sep の文字で分割した index 番目の文字列を返します。</p> <p>先頭の分割文字列の index は 1 です。</p> <p>index に負の値を指定すると後ろから index 番目となります。</p> <p>sep には半角文字列しか指定できません。</p>
文字列結合 <strcat>	<p>文字列結合(s1, s2 [, ...])</p> <p>文字列を結合します。</p> <p>演算子の + との違いは数字でも文字列として連結することです。</p> <p>例 文字列結合(123, 456) --&gt; 123456</p> <p>123 + '456' --&gt; 579</p>
中身 <trim>	<p>中身(str)</p> <p>str の前後の空白を除いた文字列を返します。</p>
文字列分割 <strsep>	<p>文字列分割(str, sep, index[, npart])</p> <p>str を sep の文字で分割した index 番目から npart 個の文字列を返します。</p> <p>先頭の分割文字列の index は 1 です。</p> <p>index に負の値を指定すると後ろから index 番目となります。</p> <p>sep には半角文字列しか指定できません。</p>
文字列分割逆順 <strseprev>	<p>文字列分割逆順(str, sep)</p> <p>str を sep の文字で分割した部分文字列を逆順に連結した文字列を返します。</p> <p>ドメイン名を逆順にする時に使います。</p>
文字列長 <strlen>	<p>文字列長(str)</p> <p>str の長さを返します。</p>
文字列置換 <strexc>	<p>文字列置換(str, s1, s2)</p> <p>str 中の s1 の文字列を s2 に置き換えた文字列を返します。</p>
文字列繰返 <strrep>	<p>文字列繰返(str, cnt)</p> <p>str を cnt 回繰返した文字列を返します。</p>
文字列回数 <strnstr>	<p>文字列回数(str, pat)</p> <p>str 中に pat の文字列が出現する回数を返します。</p>
文字列文字列 <strstr>	<p>文字列文字列(str, idx, pat, cnt)</p> <p>str の idx 番目(先頭は 1)の位置から pat の文字列が cnt 回出現した所のインデックス(先頭は 1)を返します。</p>
文字列 OR	<p>文字列 OR(s1, s2 [, ...])</p>

## 6 式と組み関数

<b>&lt;stror&gt;</b>	文字列の桁別の論理ORを返します。 文字列は、最長のものに合わせ足りない分は、"0" が続くものとして扱い、"0"以外の文字は"1"として扱います。
<b>文字列 AND &lt;strand&gt;</b>	文字列 AND(s1, s2 [, ...]) 文字列の桁別の論理ANDを返します。
<b>文字列 XOR &lt;strxor&gt;</b>	文字列 XOR(s1, s2 [, ...]) 文字列の桁別の論理XORを返します。
<b>分岐 &lt;if&gt;</b>	分岐(cond, s1, s2) cond が真("0"以外)ならば、s1 を、そうでなければ s2 を返します。 例 分岐(金額 > 100, 金額, 100)
<b>反復 &lt;for&gt;</b>	反復(前処理, 判定, 反復処理) 以下のように反復処理を繰り返します。 1.前処理 2.判定が偽なら終わり 3.反復処理をして2.へ
<b>整数 &lt;int&gt;</b>	整数(n) n を数値に変換し整数部分を返します。
<b>bgcolor</b>	bgcolor(s) 背景色を s で指定した色にします。 色は以下の文字列か RGB を16進2桁ずつで指定します。 "clAqua", "clBlack", "clBlue", "clDkGray", "clFuchsia", "clGray", "clGreen", "clLime", "clLtGray", "clMaroon", "clNavy", "clOlive", "clPurple", "clRed", "clSilver", "clTeal", "clWhite", "clYellow" <b>注意事項</b> bgcolor()と fontcolor()は、特殊な並びの文字列を返す関数です。 PowerFolder は表示時に特殊な並びの文字列を解釈して色を付けます。 色指定の文字列をデータとしてディスクに書き込むと条件を指定して検索することが難しくなります。 使い方は、拡張項目の式で他の項目の値を修飾するようにします。 例えば、件数が 100 以上であれば背景を赤くするには次のようにします。 if(件数 > 100, bgcolor("clRed")) + 件数
<b>fontcolor</b>	fontcolor(s) フォントの色を s で指定した色にします。 色の指定は bgcolor() と同じです。 <b>注意事項</b> bgcolor()の注意事項を参照してください。
<b>カラム名 &lt;colname&gt;</b>	カラム名() 拡張項目のカラム名を返します(拡張項目でのみ有効)。
<b>ユーザ名 &lt;username&gt;</b>	ユーザ名() ユーザ名を返します。

## 6 式と組み関数

ホスト名 <host>	ホスト名(ipaddr [,デフォルト値]) ipaddr を IP アドレスとしホスト名を返します。 ホスト名が見つからない時は、デフォルト値を返します。 例 ホスト名('210.175.254.130')->210-175-254-130.cust.bit-drive.ne.jp
----------------	---

以下の関数はフォルダのデータ処理の指示にのみ記述できます。

関数名 <別名>	説明
<b>setvalue</b>	setvalue(カラム名, 値 [, カラム名, 値, ...]) 検索したレコードのカラムの値を変更してディスクに書きます。 拡張カラムや他表のカラムに対しては、値のセットをはできませんが、書込みはされません。 また、存在しないカラム名を指定した時も一時的な領域に値を保存するので、変数のように使うことができます。
<b>insert</b>	insert(表名, カラム名, 値 [, カラム名, 値, ...]) 表名で指定した表にレコードを追加します。
<b>update</b>	update(表名, 条件, カラム名, 値 [, カラム名, 値, ...]) 表名で指定した表の条件に合うレコードの内容を更新します。
<b>delete</b>	delete(表名, 条件) 表名で指定した表の条件に合うレコードを削除します。
<b>count</b>	count() 処理中のレコードが何番目(先頭は 1)かを返します。
<b>maxcount</b>	maxcount() 対象のレコードの総数を返します。
前後カラム値 <getrelval>	前後カラム値(カラム名, 移動数 [,デフォルト値]) 現在の行から移動数だけ離れた行のカラム値を返します。 移動数のマイナスはリストの前(上)、プラスは後ろ(下)に移動します。 存在しない行を指定した場合はデフォルト値を返します。
実行場面 <scene>	実行場面() 実行場面を以下の文字列で返します。 "メニュー", "ドロップ", "集計メニュー", "編集前", "編集後", "削除"

### 7 アクセス制御

アクセス制御を使うと PowerFolder でできることを利用者毎に決めることができます。

利用者を特定するためにユーザというものが導入され、利用者の集団を特定するためにグループというものが導入されます。

ユーザとグループは PowerFolder の表で管理されます。それらは表名で識別され、ユーザ管理表は「PF ユーザ」、グループ管理表は「PF グループ」という表名です。この名前の表があるとアクセス制御が有効になります。

アクセス制御が有効になると、利用者はプログラムの開始時にユーザ名とパスワードの入力が求められるようになります。従って、ユーザとグループはあらかじめ登録しておく必要があります。

アクセス制御の対象物は、表、フォルダ、レコードで、これらには所有者と所属グループが設定されます。所有者はユーザ管理表から、所属グループはグループ管理表から選ばれます。レコードの所有者と所属グループは次のカラム名で指定します。

\_\_PU\_OWNER\_ID\_\_ : 所有者

\_\_PU\_GROUP\_ID\_\_ : 所属グループ

これらのカラム名がない場合は、表の所有者と所属グループと同じになります。

対象物の所有者、所属グループと利用者の組み合わせを三通りに分けます。

- (A) 利用者が対象物の所有者である
- (B) 利用者が対象物の所属グループのメンバーに含まれる
- (C) 利用者を区別しない

対象物に対する操作の許可・不許可を上記(A)、(B)、(C)の場合毎に設定します。

- ・表定義の読込、更新、削除
- ・レコードの読込、更新、削除、追加
- ・フォルダの読込、更新、削除、追加

操作の許可・不許可の判定は(A)、(B)、(C)のどれか1つでも許可となった時点で終わります。

具体的には (C) -> (A) -> (B) の順番で許可・不許可を調べます。

例えばフォルダの更新の際の手順は次のようになります。

- (1) フォルダの更新が(C)の場合に許可されていれば終わり
- (2) 利用者がフォルダの所有者であれば(A)の場合を調べ許可されていれば終わり
- (3) 利用者がフォルダの所属グループのメンバーであれば(C)の場合を調べ許可されていれば終わり
- (4) フォルダの更新(4) フォルダの更新は不許可

## アクセス制御の有効化

ユーザ管理表とグループ管理表を作るとアクセス制御が有効になります。

ユーザ管理のために、「PF ユーザ」という名前の表を作成します。その際、カラムを指定しないと作成できないので、「ID」(半角大文字)というカラムを 整数で作ります。

グループ管理のためには、「PF グループ」という名前の表を作成します。ユーザ管理と同様に「ID」(半角大文字)というカラムを整数で作ります。

2表を作成した後の最初の起動時に、いくつかのカラムが自動的に追加され、いくつかのユーザとグループが自動的に作成され、アクセス制御が有効になり、起動時にユーザ名とパスワードの入力を促すウインドウが表示されるようになります。最初のユーザ名は root か usradm を指定します。

最初に作られるユーザとグループは次の通りです。

ユーザ

ID	ユーザ名	グループ ID	パスワード
0	root	0	acotroot
1	usradm	1	acotusradm

グループ

ID	グループ名	メンバー
0	root	0
1	ユーザ管理	0,1
2	一般	0

「PF ユーザ」表のカラムは次のようになります。

カラム名	型	説明
ID	整数	ユーザを識別するための番号
ユーザ名	文字列	ユーザを識別するための名前
グループ ID	整数	表・フォルダを作成した時のグループ ID
パスワード	文字列	
説明	文字列	任意の文字列
登録日	文字列	
__PU_OWNER_ID__	整数	レコードの所有者 ID
__PU_GROUP_ID__	整数	レコードの所有グループ ID

## 7 アクセス制御

「PF グループ」表のカラムは次のようになります。

カラム名	型	説明
ID	整数	グループを識別するための番号
グループ名	文字列	グループを識別するための名前
メンバー	文字列	グループに属するユーザ ID のリスト
説明	文字列	任意の文字列
登録日	文字列	

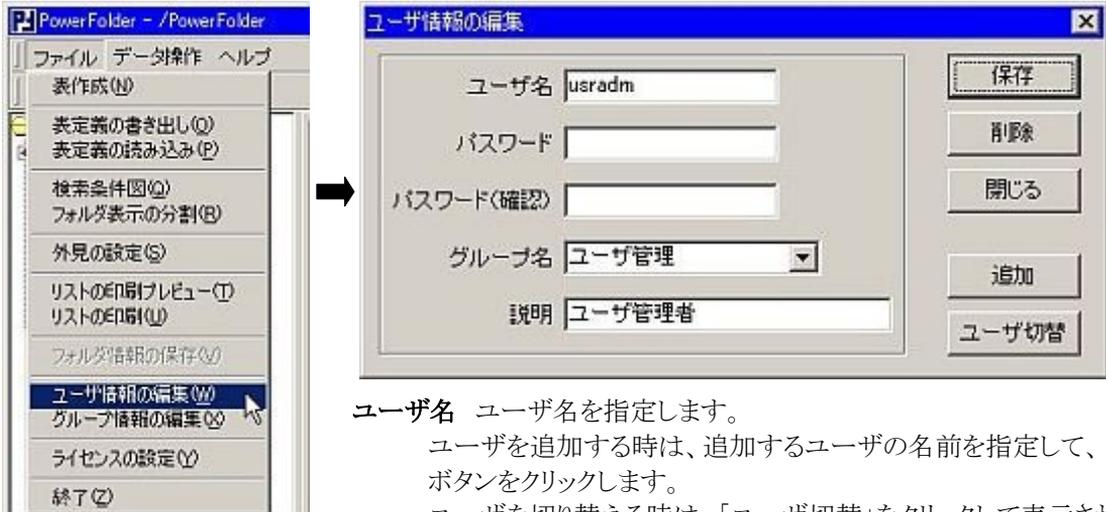
ユーザ表とグループ表の所有者、グループは次のようになります。

所有者:usradm

グループ:ユーザ管理

## ユーザの追加・編集・削除

ユーザの追加・編集・削除は「ファイル」メニューから「ユーザ情報の編集」を選び、「ユーザ情報の編集」ウィンドウを表示して行います。



**ユーザ名** ユーザ名を指定します。

ユーザを追加する時は、追加するユーザの名前を指定して、「追加」ボタンをクリックします。

ユーザを切り替える時は、「ユーザ切替」をクリックして表示されるウィンドウでユーザ名を指定します。

**パスワード** パスワードを指定します。

**パスワード(確認)** パスワードを再度指定します。

**グループ名** グループ名を選択します。

**説明** 任意の文字列を指定します。

**「保存」** ユーザの情報を保存します。

新しくユーザを追加する時は、「追加」ボタンをクリックします。

**「削除」** ユーザ名で示されるユーザを削除します。

**「閉じる」** ウィンドウを閉じます。保存は行われません。

**「追加」** ユーザ名以下、各欄の値で新しくユーザを登録します。

本ボタンと「ユーザ切替」ボタンはユーザが root か、「PF ユーザ」表の所有者の時しか表示されません。

**「ユーザ切替」** 編集対象のユーザを切り替える時、クリックします。

本ボタンと「追加」ボタンはユーザが root か、「PF ユーザ」表の所有者の時しか表示されません。

「追加」と「ユーザ切替」のボタンは、利用者が root か「PF ユーザ」表の所有者の時しか表示されません。初期状態では「PF ユーザ」表の所有者は usradm ですので、root か usradm でないとユーザの追加や他のユーザの編集・削除はできませんが、「保存」と「削除」はいつでも表示されるので、自分自身の情報の編集と削除はできます。

「PF ユーザ」表を直接編集してユーザの追加・編集・削除をすることもできます。

レコードを直接編集してパスワードを空にするとパスワード無しになります。

再度、パスワードを設定する時は「ユーザ情報の編集」ウィンドウで行います。

## グループの追加・編集・削除

グループの追加・編集・削除は「ファイル」メニューから「グループ情報の編集」を選び、「グループ情報の編集」ウィンドウを表示して行います。



**グループ名** グループ名を指定します。

グループを追加する時は、追加するグループの名前を指定して、「追加」ボタンをクリックします。

グループを切り替える時は、「グループ切替」をクリックして表示されるウィンドウでグループ名を指定します。

**所属ユーザ** グループに所属するユーザがリストされます。

「追加」 グループにユーザを追加する時、クリックします。

クリック後、追加可能なユーザの一覧が別ウィンドウで表示されるので、そこから選択します。

「削除」 ユーザをグループから削除する時、クリックします。

ユーザのリストで選択中のものが対象になります。

**説明** 任意の文字列を指定します。

「保存」 グループの情報を保存します。

新しくグループを追加する時は、「追加」ボタンをクリックします。

「削除」 グループ名で示されるユーザを削除します。

「閉じる」 ウィンドウを閉じます。保存は行われません。

「追加」 グループ名以下、各欄の値で新しくグループを登録します。

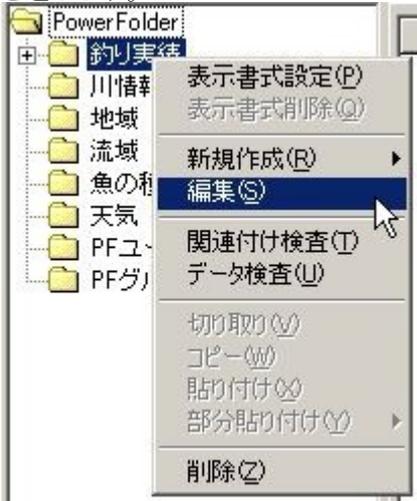
「ユーザ切替」 編集対象のグループを切り替える時、クリックします。

「ファイル」メニューから「グループ情報の編集」を選べるのは、利用者が root か「PF グループ」表の所有者か所属グループのメンバーの時だけです。

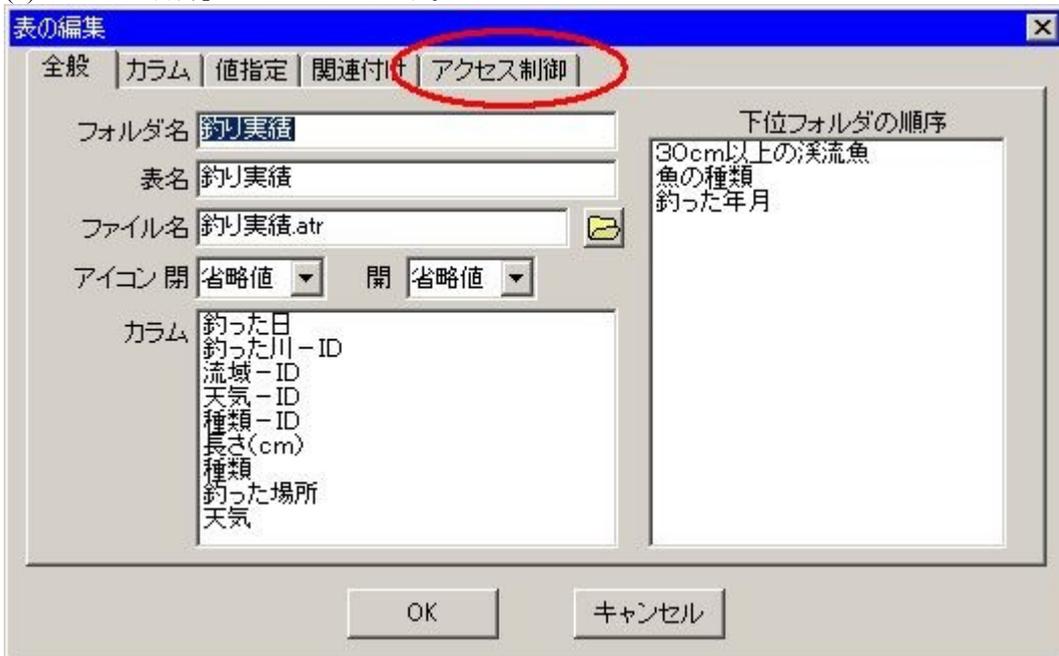
## アクセス権の設定

表のアクセス権の設定は、表の編集ウィンドウの「アクセス制御」タブで行います。

(1) アクセス権を設定する表フォルダにカーソルを置きマウスの右ボタンのクリックでメニューを表示し「編集」を選びます。



(2) 「アクセス制御」タブをクリックします。



(3) アクセス権を設定します。

	所有者	グループ	その他
表定義	<input checked="" type="checkbox"/> 読込可	<input checked="" type="checkbox"/> 読込可	<input type="checkbox"/> 読込可
	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可	<input type="checkbox"/> 更新可	<input type="checkbox"/> 更新可
	<input checked="" type="checkbox"/> 削除可	<input type="checkbox"/> 削除可	<input type="checkbox"/> 削除可
フォルダ	<input checked="" type="checkbox"/> 追加可	<input checked="" type="checkbox"/> 追加可	<input checked="" type="checkbox"/> 追加可
レコード	<input checked="" type="checkbox"/> 読込可	<input checked="" type="checkbox"/> 読込可	<input type="checkbox"/> 読込可
	<input checked="" type="checkbox"/> 更新可	<input type="checkbox"/> 更新可	<input type="checkbox"/> 更新可
	<input checked="" type="checkbox"/> 削除可	<input type="checkbox"/> 削除可	<input type="checkbox"/> 削除可
	<input checked="" type="checkbox"/> 追加可	<input checked="" type="checkbox"/> 追加可	<input checked="" type="checkbox"/> 追加可

#### 所有者

所有者を指定します。

レコードのカラムに `__PU_OWNER_ID__` がない場合、ここで指定した値がレコードの所有者になります。

#### グループ

所属グループを指定します。

レコードのカラムに `__PU_GROUP_ID__` がない場合、ここで指定した値がレコードのグループになります。

#### 表定義

表に対するアクセス権を所有者、グループ、その他、の3つの場合毎に設定します。

#### フォルダ

フォルダに対するアクセス権を所有者、グループ、その他、の3つの場合毎に設定します。

#### レコード

レコードに対するアクセス権を所有者、グループ、その他、の3つの場合毎に設定します。

## 7 アクセス制御

フォルダのアクセス権の設定は、フォルダの編集ウィンドウの「アクセス制御」タブで行います。  
表の場合と同様にアクセス権を設定するフォルダの編集ウィンドウを開き「アクセス制御」のタブを開きます。



### 所有者

フォルダの所有者を指定します。

### グループ

フォルダの所属グループを指定します。

### 所有者

利用者が所有者の時のアクセス権を設定します。

### グループ

利用者がグループの時のアクセス権を設定します。

### その他

全ての利用に対するアクセス権を設定します。

## 8 ライセンスの設定

PowerFolder を永続的に使用するにはライセンスの登録が必要です。

ライセンスの登録には以下の3つが必要です。

1. メールアドレス
2. ライセンス番号
3. ライセンスキー

メールアドレスは利用者のメールアドレスです。

ライセンス番号とライセンスキーは弊社(エイコット)が発行しますので、お客様のメールアドレスとお使いの PowerFolder のバージョンをお知らせください。

ライセンス番号とライセンスキーを入手したら「ファイル」メニューから「ライセンスの設定」を選び、「ライセンスの登録」ウィンドウを表示して行います。



**メールアドレス**

弊社に通知したお客様のメールアドレスを指定します。

**ライセンス番号**

弊社が発行したライセンス番号を指定します。

**ライセンスキー**

弊社が発行したライセンスキーを指定します。

**「登録」**

ライセンスを登録してウィンドウを閉じます。

**「キャンセル」**

ウィンドウを閉じます。登録は行われません。